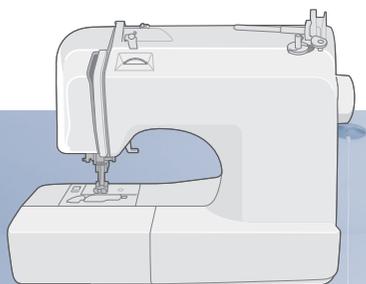


取扱説明書

コンピューターミシン
CPE00/CPE11シリーズ



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本製品は日本国内向け、家庭用です。外国ではお使いいただけません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
職業用としてお使いになった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- お使いになる前に、必ず「安全にお使いいただくために」(P.1~2)をお読みください。
- 本書で機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
- 本書は、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

人への危害や損害を未然に防ぐために、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれのある」内容です。

注意 「傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある」内容です。

■ お守りいただく内容を区分して説明しています。

「してはいけない」内容です。

「実行しなければならない」内容です。

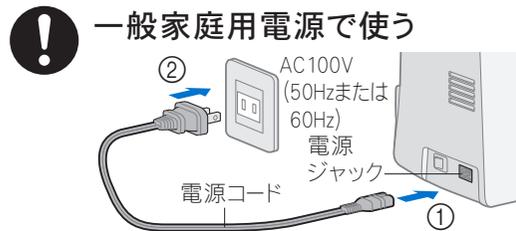
お願い

- 本機をお使いになる方（お子様を含む）が、身体／知覚／精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合、安全を保証できる責任者の監視の下でのみお使いください。
- お子様がお使いになるときは、十分な監視をし、玩具として使われないようにしてください。

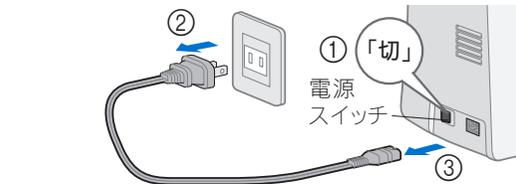
確認

警告

火災・感電・故障 をさけるために



- 次の場合は電源を切り、プラグを抜く
- ミシンの使用後や、そばを離れるとき
 - 使用中に停電したとき
 - 接触不良などで正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき



異常・故障時は…
すぐにプラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡を！
(またはお客様相談室（ミシン119番）へ）

異常などの例：

- 煙が出た、異臭や異常音がある
- ミシンを落とした
- 電源コードやプラグの破損
- 本体に水が入った



■ 警告ラベルの注意事項をお守りください



(警告ラベル)



ラベルの場所

けが・針折れなどをさけるために

針や周辺部品

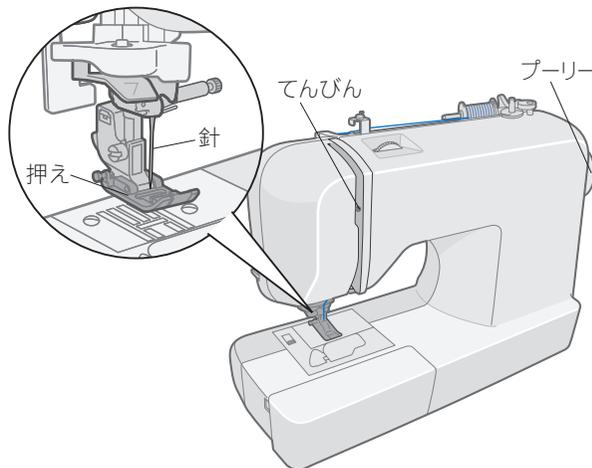
- 縫製中は次のことをしない
 - 針やプーリー、てんびんなど、動いている部品に手を近づける
 - 針の下などに指を入れる
 - 布地を無理に引っ張ったり、押ししたりする



- 曲がった針は使わない
- リッパーで穴をあける方向に、手や指を置かない
(すべったときにけがのおそれがあります)



- 針や押えの交換時は、電源を切る
(誤ってスイッチを押すと、ミシンが動作するおそれがあります)
- 上糸や下糸などに関する操作は、本書に従って正しく行う
(誤ると、糸がらみなどが発生し、針の折れや曲がりのおそれがあります)



注意

けが・故障 をさけるために

持ち運び

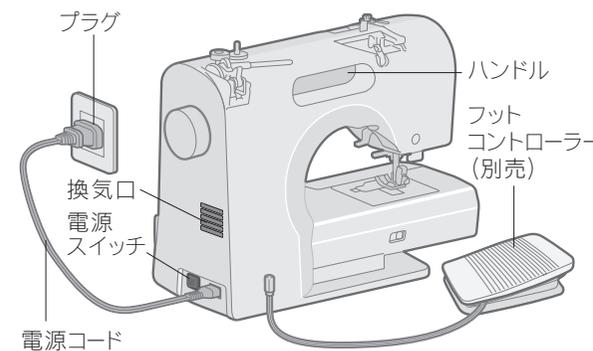
- 急激または、不用意に持ち上げない
- ハンドルを持って運ぶ
(他の部分では、こわれたり、すべって落とすおそれがあります)



火災・発熱・感電 をさけるために

電源コードやプラグ

- 次のようなことをしない
 - たこ足配線
 - 濡れた手でプラグの抜き差し
 - 電源を切らずにプラグを抜く
 - ゆるんだコンセントに差し込む
 - 電源コードを引っ張って抜く
- 電源コードは、次のような扱いをしない
 - 無理に曲げる
 - たばねたまま使う
 - ねじる
 - 重い物を載せる など
- プラグは根元まで確実に差し込む

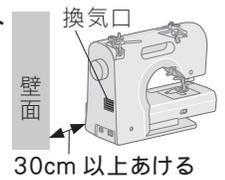


火災・感電・けが・故障・事故などをさけるために

設置・保管場所

- 次の場所に設置や保管をしない
 - 著しく高温や低温になる (使用環境温度は0~40℃)
 - 急激に温度が変化する
 - 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い (火のついたたばこやろうそく、アイロン、ストーブなど)
 - スプレー (布用スプレーなど) を使う部屋
 - 湿気や湯気が多い
 - 屋外や、直射日光が当たる
 - ほこりや油煙が多い
 - 不安定な場所 (ぐらつく、傾くなど)

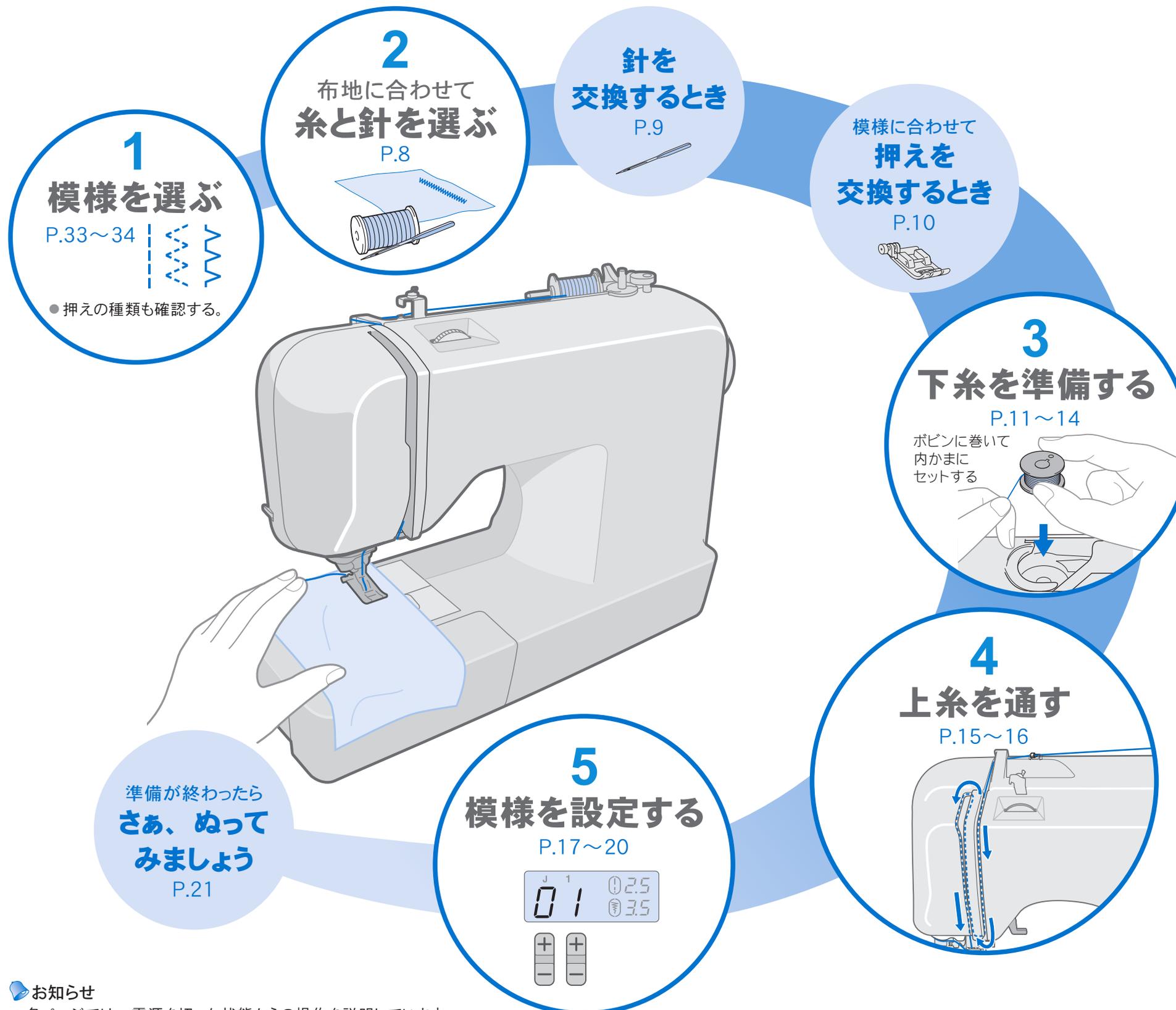
- 換気口やフットコントローラーに糸くずやほこりをためない
- 換気口をふさがない



取り扱い

- 換気口や内部にドライバーなどを差し込んだり、異物を入れない (高電圧部に触れるおそれがあります)
- 修理や分解、改造は行わない
- フットコントローラーの上に物を置かない
- 付属品、別売品は純正品を使う
- 本書に記載の整備は、プラグを抜いてから行う
- 本機が入っていた袋は、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄する (かぶって遊ぶと、窒息のおそれがあります)

まず、流れを確認しましょう



お知らせ
●各ページでは、電源を切った状態からの操作を説明しています。

もくじ

安全にお使いいただくために	1	確認
各部の名前／電源の入れ方	5	
付属品／別売品	7	

糸と針を選ぶ	8	準備
針を交換するとき	9	
押えを交換するとき	10	
下糸を準備する	11	
・下糸を引き出してからぬうとき	14	
上糸を通す	15	
模様を設定する	17	

基本のぬい方		ぬい方
さあ、ぬってみましょう	21	
上手にぬうコツ	23	

いろいろなぬい方		ぬい方
実用ぬい	25	
・直線ぬい	25	
・布端の始末	25	
・すそ上げ	26	
・ボタン穴かがり	27	
・ファスナーつけ	28	
・伸びる布地／ゴムひもつけ		
〔伸縮ぬい／ゴムひもつけ〕	29	
・ぬい目の補強〔かんどめ／3重ぬい〕	29	
・飾りぬい〔飾りぬい／ファゴティング〕	30	
・アップリケ／パッチワーク／キルト		
〔キルトイング／アップリケ／パッチワーク		
〔クレイジーキルト〕／フリーモーションキルト〕	31	
模様早見表	33	

お手入れする	35	必要なとき
仕様	36	
困ったとき	37	
エラーメッセージ	40	
故障かな?と思ったら	41	
索引	44	
アフターサービス	裏表紙	

各部の名前／電源の入れ方

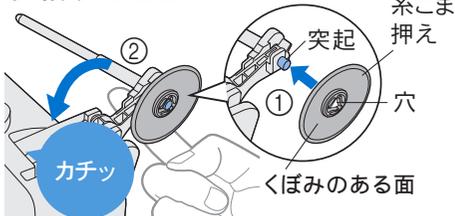
糸たて棒

糸こまを差し込みます。(P.11、P.15)

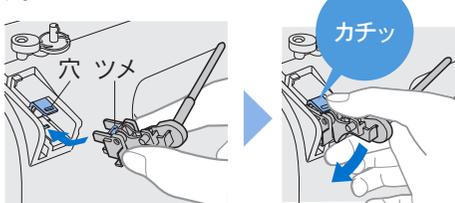
■ 使うとき



■ 収納するとき



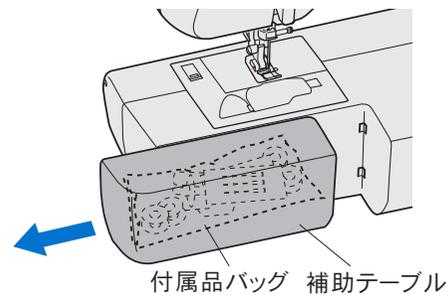
■ 外れてしまったとき



補助テーブル

(付属品収納スペース)

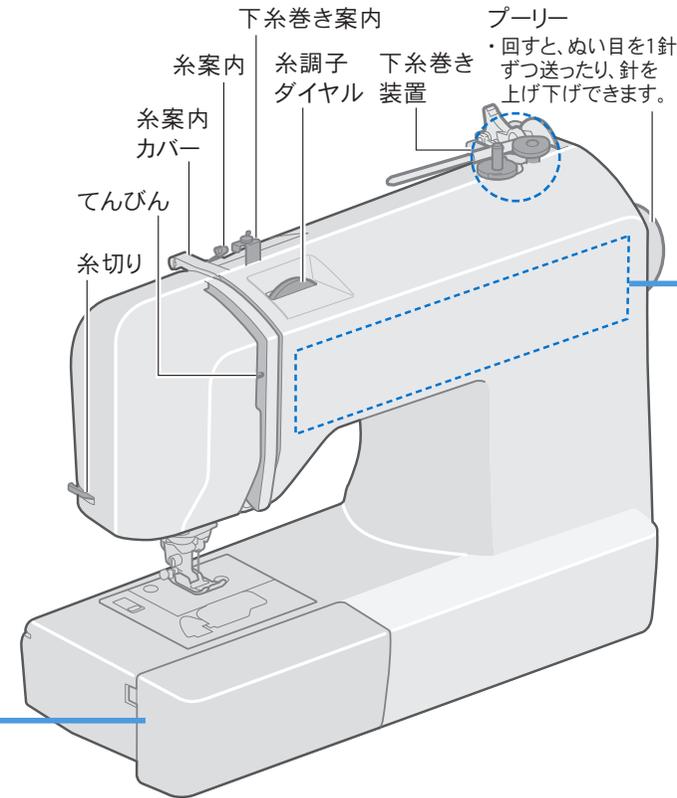
スライドすると、取り外せます。



■ 付属品 (P.7) を取り出すとき

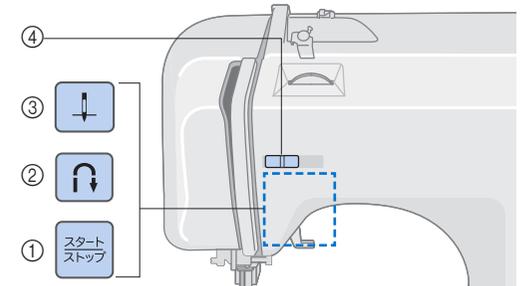
補助テーブル内側の収納スペースに、付属品の一部が収納されています。

■ 筒ものをぬうとき (P.23)



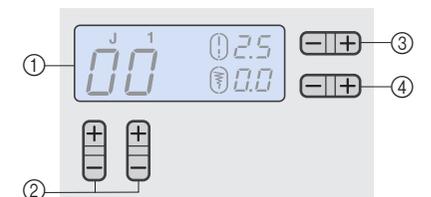
操作部

操作スイッチ



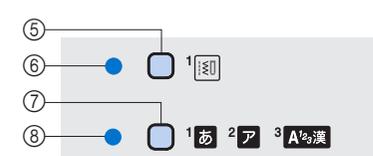
- ① スタート/ストップスイッチ
- ② 返しぬいスイッチ
押し続けている間、設定している模様によって返しぬいか止めぬいをします。(P.22)
- ③ 針上下スイッチ
続けて2回押しすると、1針ぬえます。(細かい部分をぬうときに)
- ④ スピードコントロールレバー

操作パネル (P.17)



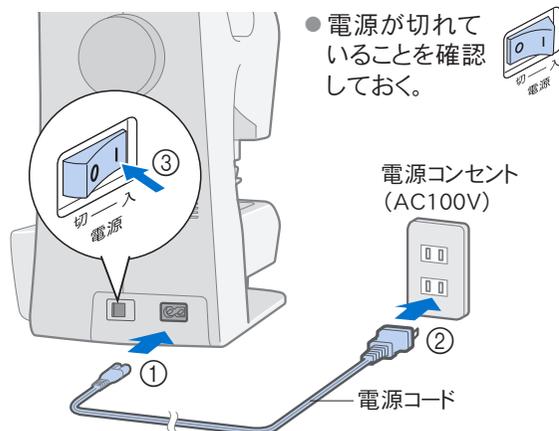
- ① LCD (液晶画面)
- ② 模様 (文字) 選択キー
- ③ ぬい目の長さ調節/文字確認キー
- ④ ジグザグの振り幅調節/文字追加 (削除) キー

模様種類選択キー



- ⑤ 実用ぬいキー
- ⑥ 実用ぬい表示ライト
- ⑦ 文字ぬいキー
- ⑧ 文字ぬい表示ライト

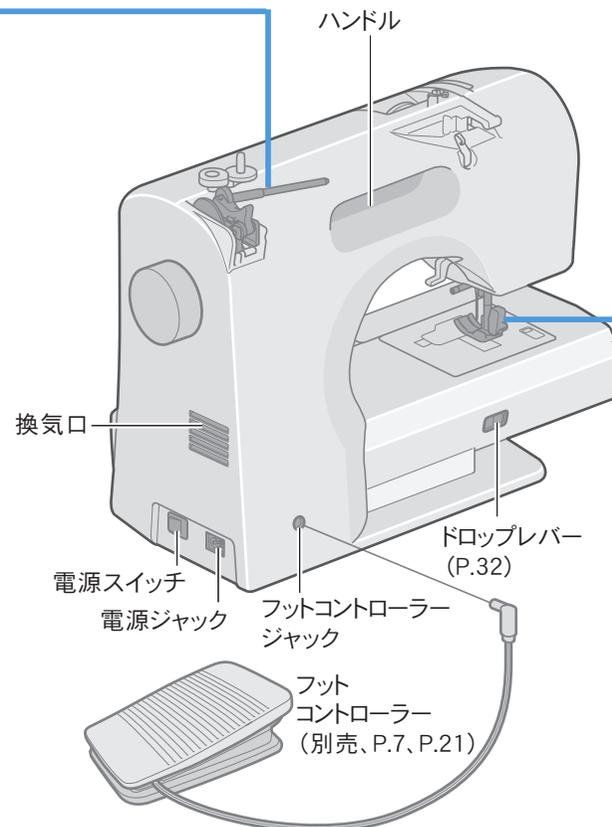
電源の入れ方



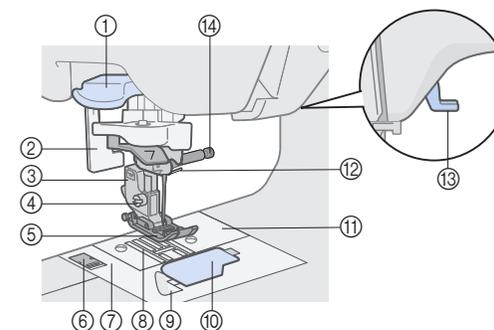
- 手もとライトが点灯し、LCD (液晶画面) が表示される。

お知らせ

- 電源が入ると、針や送り歯が動く音がします。(故障ではありません)



針・押え部分



- ① 糸通しレバー
- ② ボタン穴かがりレバー
- ③ 押えホルダー
- ④ 押えホルダーのネジ
- ⑤ 押え
- ⑥ 針板カバー取り外しつまみ
- ⑦ 針板カバー
- ⑧ 送り歯
ぬう方向に布地を送ります。
- ⑨ 下糸クイック
下糸を引き上げずにぬい始められます。
- ⑩ 針板ふた/かま (内部)
- ⑪ 針板
まっすぐにぬうための目盛りが付いています。
- ⑫ 針棒糸かけ
- ⑬ 押えレバー
- ⑭ 針のとめネジ

付属品／別売品

付属品

ミシンの箱を開けたら、まず以下の付属品がそろっているか確認してください。

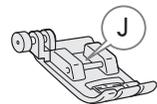
- 付属品には、補助テーブル内側の収納スペース (P.5) に入っているもの、ミシン本体に取り付けられているもの、ミシンとは別に箱に入っているものがあります。
→不足・破損時は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 付属品や別売品については、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン119番)」にお問い合わせください。

押え (6種)

● 模様に合わせて使い分ける。
(P.33~34)

● ジグザグ押え <J>

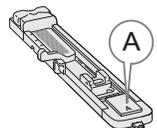
- お買い上げ時、本機に取り付けられています。



● 模様ぬい押え <N>



● ボタン穴かがり押え <A>



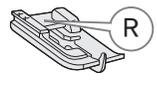
● たち目かがり押え <G>



● 片押え <I>



● まつりぬい押え <R>



ボビン

(本機純正・4個)

下糸を巻いて使います。

- お買い上げ時、1個は内かまに取り付けられています。



ネジ回し

針板や押えホルダーのネジ、針のとめネジを回すときに。



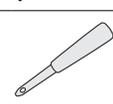
ドライバー

押えホルダーのネジや針のとめネジを回すときに。



はとめ穴パンチ

はとめ穴をあけるときに。



糸こま押え

糸こまを押さえるために使います。

- 糸こまの大きさによって使い分ける。(P.11、P.15)

- お買い上げ時、「中」は糸たて棒に取り付けられています。(P.5)



ミシン針

(3種・計5本)

● 布地や糸の種類に合わせて使い分ける。
(P.8)

- 黄：# 11 (2本)
- 赤：# 14 (2本)
- 緑：# 16 (1本)



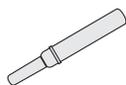
ミシンブラシ

かまなど細かい部分の掃除に。



リッパー

ぬい目をほいたり、ボタン穴を切り開くときに。

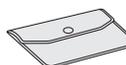


電源コード

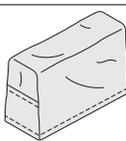


付属品バッグ (P.5)

- 付属品は、必ず付属品バッグに入れてから、補助テーブルに収納する。
(落ちると、紛失や破損のおそれがあります)



ミシンカバー



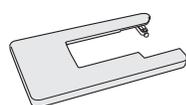
説明書

- 取扱説明書 (本書)
- かんたん操作ガイド
下糸の準備や上糸の通し方の確認に。
- 模様一覧／早見表
模様の設定方法や文字模様の確認に。

別売品



フットコントローラー
(モデル名：FC32291、型式：MODEL T)
ミシンを足で操作するときに。(P.21)



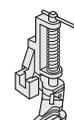
ワイドテーブル
(モデル名：WT4)
大きいものをぬうときに。



ウォーキングフット
(モデル名：F033)
ビニールや皮革など、すべりにくい布地をぬうときに。(P.24)



キルター
(モデル名：F016N)
キルティング時、ぬい目を等間隔にそろえるときに。(P.31)



キルト押え
(モデル名：F005N)
フリーモーションキルトをするときに。(P.32)

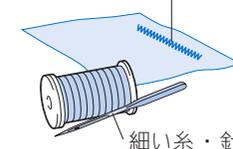


ボビン
(モデル名：B051[5個入り]、B101[10個入り])

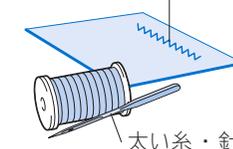
糸と針を選ぶ

布地に合わせて選びます。

薄い布地は…
ぬい目を細かく



厚い布地は…
ぬい目を粗く



注意

- 20番以下の太い糸は使わない (故障や針折れのおそれがあります)
- 布地・糸・針の組み合わせは、次の表に従う (組み合わせが適していないと、ふぞろいな目やぬいじわ、目とびのおそれがあります)

布地	糸		針	ぬい目
	種類	太さ(番)	太さ(番)	長さ(mm)
薄地	ローン、ジョーゼット、ポーラ、オーガンジー、シフォン、ボイル、ガーゼ、チュール、綿サテン、裏地 など	ポリエステル 60~90 綿・絹 50~80	9~11	細かい (1.8~2.5)
	普通地	ブロード、タフタ、ギャバジン、フラノ、サッカー、ダブルガーゼ、リネン (麻布)、ちりめん、タオル地、ワッフル、シーチング、ポプリン、シャンプレー、ダンガリー、サテン、サージ など	ポリエステル 60~90 綿・絹 50~60	11~14
厚地		デニム (12オンス以上)、帆布 など	ポリエステル・綿 30	16
	デニム (12オンス以上)、帆布、ツイード、コーデュロイ、ベロア、キルティング、メルトン、モッサ、ビニールコーティング地 など	ポリエステル 60 綿・絹 30~50	14~16	
伸びる布地 (ニット素材など)	ジャージー、トリコット、Tシャツ地、フリース、スムース など	ニット用 50	ニット用 (金) 11~14	布地の厚みに合わせて設定*
ステッチをかけるとき	● 20番以下の太い糸 (ステッチ糸) は使わない。 (故障や針折れのおそれがあります)	30	14~16	布地の厚みに合わせて設定
		50~60	11~14	

* 伸びる布地に適した模様を選ぶ。(P.29)

- 表は目安です。お使いになる布地を、実際にぬう枚数分重ねて試しぬいをしてください。
- 針は消耗品です。美しい仕上がりと安全のため、早めの交換をおすすめします。(交換の目安：P.9)

糸について



使える糸 ミシン糸の30~90番

- 数字が小さいほど太い糸です。
細い ← 90……60……30 → 太い

■ 文字模様・飾り模様をぬうとき
50~60番の糸を使う。

■ ナイロン透明糸を使うとき
布地にかかわらず、14~16番の針を使う。

針について



使える針 家庭用ミシン針
(型番の先頭が「HAX 1J」)の9~16番

- 数字が大きいほど太い針です。
細い ← 9…11…14…16 → 太い

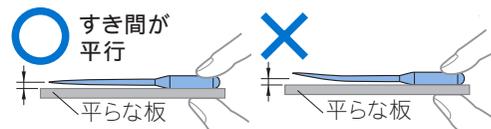
■ 文字模様・飾り模様をぬうとき
厚地のときは家庭用ミシン針の14番、厚地以外
のときはニット用針 (金)の11番 (別売)を使う。

■ 交換のしかた (P.9)

針を交換するとき

針の確認

平らな面を下にして確認する。



注意

- 曲がった針は使わない（途中で折れてけがのおそれがあります）
- 家庭用ミシン針（型番の先頭が「HA×1」）を使う（ほかの針では、折れや曲がりのおそれがあります）

お願い

- 針は消耗品です。次のようなときは交換してください。
 - 布地に刺さるときに通常と異なる音（パツパツ・バツバツなど）が出るとき（針先の折れやつぶれの可能性があります）
 - 目とびが起きるとき（針の曲がりの可能性があります）
 - 洋服などを1作品ぬい終えたとき（目安）

交換のしかた

- 1 針上下スイッチを押して、針を上げる（1回または2回）

- 2 電源を切る

注意

- 必ず電源を切る（誤操作でミシンが作動すると、けがのおそれがあります）

- 3 押えを外す（P.10の手順3と4を行う）

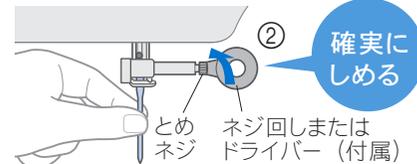
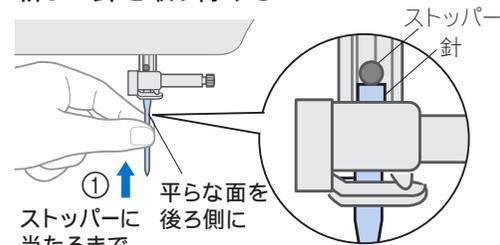
- 4 布や紙を置く（針のミシン内部への落下防止）

- 5 針を外す



- とめネジは、無理な力で回さない。（故障のおそれがあります）

- 6 新しい針を取り付ける



注意

- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込む
- とめネジは確実にしめる（手順どおり行わないと、針折れや故障のおそれがあります）

- 7 押えを取り付ける（P.10の手順5から7を行う）

押えを交換するとき

注意

- 模様に適した押えを使う（P.33～34）（誤ると、針の折れや曲がりのおそれがあります）
- 押えは純正品を使う（純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります）
※純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。

交換のしかた

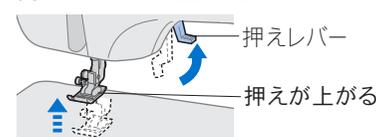
- 1 針上下スイッチを押して、針を上げる（1回または2回）

- 2 電源を切る

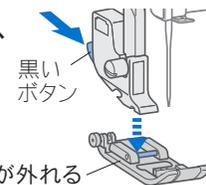
注意

- 必ず電源を切る（誤操作でミシンが作動すると、けがのおそれがあります）

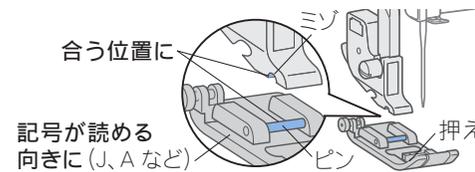
- 3 押えレバーを上げる



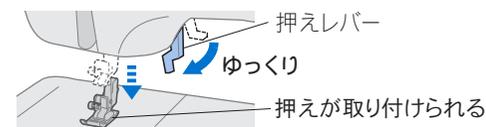
- 4 黒いボタンを押して、押えを外す



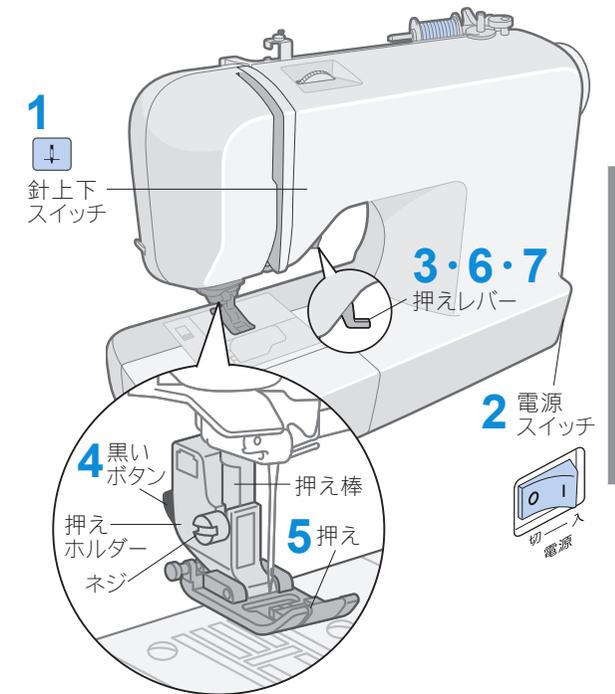
- 5 取り付ける押えを、図のように置く



- 6 押えレバーを下げ、押えを取り付ける



- 7 押えレバーを上げ、押えが取り付けられていることを確認する



押えホルダーを外すとき

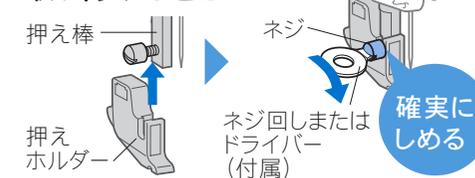
お手入れのときや、ウォーキングフット（別売）を取り付けるときに。

- 1 押えを外す（P.10の手順4までを行う）

- 2 押えホルダーを外す



取り付けるとき



- 正しく取り付ける。（誤ると、糸調子不良のおそれがあります）

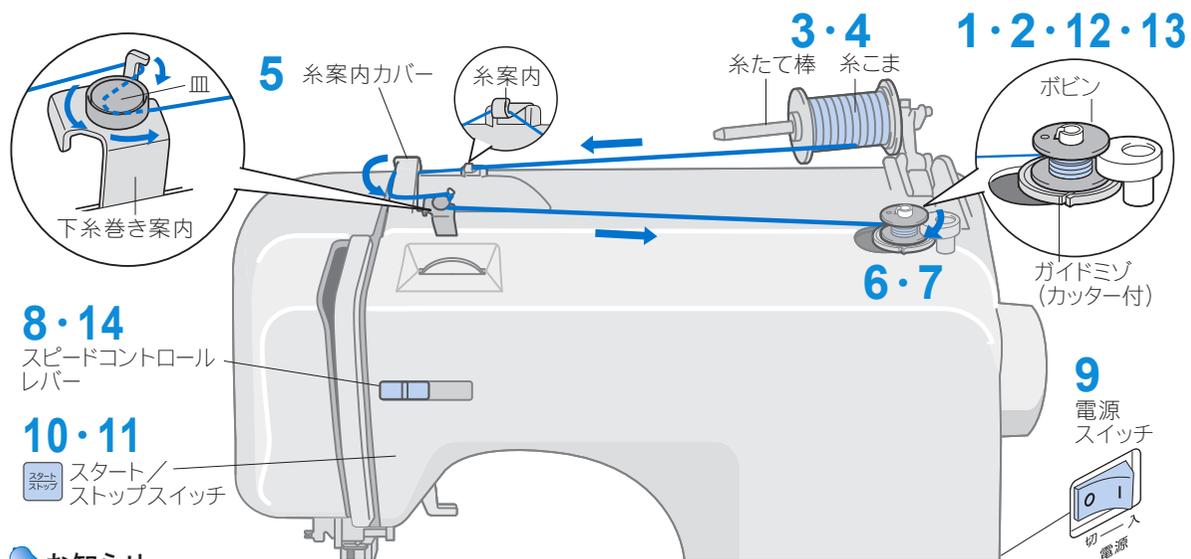
注意

- ネジは確実にしめる（押えホルダーが外れると、針の折れや曲がりのおそれがあります）

下糸を準備する

ポビンに下糸を巻く

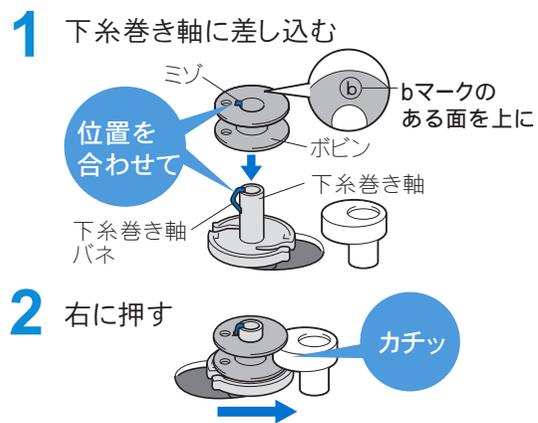
図のように通して、ポビンに巻きます。



お知らせ

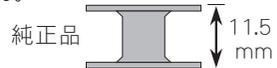
- フットコントローラーの接続時は、**スタート/ストップ**を押しても動きません。
- 巻き終わったあとミシンをスタートさせたりプーリーを回すと、「ガチャ」と音がすることがあります。(故障ではありません)

ポビンをセットする

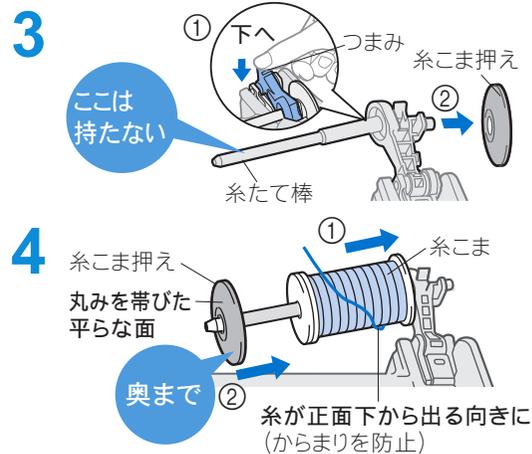


注意

- ポビンは純正品を使う(純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります)
※純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。

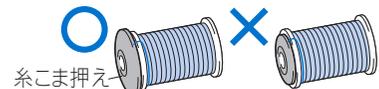


下糸用の糸こまをセットする

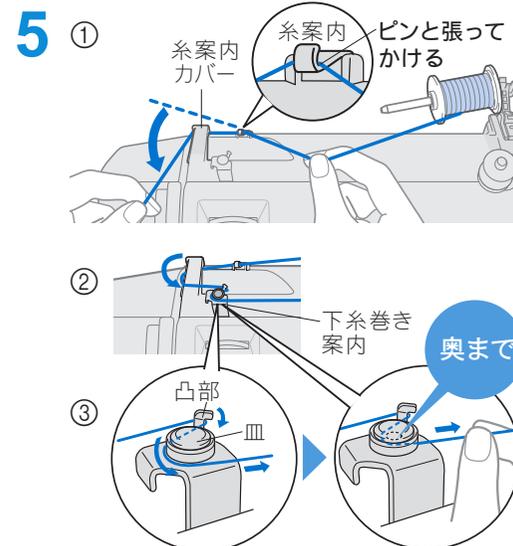


注意

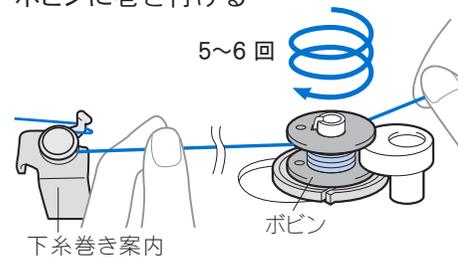
- 糸こま押えは、糸こまの大きさに合ったものを使う(糸こまより小さいと、糸がうまく巻けなかったり、縫製時に針の折れや曲がりのおそれがあります)



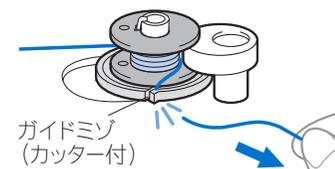
下糸を通す



6 ポビンに巻き付ける



7 糸を切る



注意

- 必ずガイドミゾのカッターで切る(他の方法では、糸がうまく巻けなかったり、縫製時に針の折れや曲がりのおそれがあります)

ポビンに下糸を巻く



伸縮性のある糸のとき (ナイロン透明糸など)

- 巻き速さは「ゆっくり」にする。(速く巻くと、伸びるおそれがあります)
- 1/2~2/3程度巻いたところで止める。(いっぱいまで巻くと、巻きくずれや縫製不良、ポビンが抜けなくなる、ポビンの破損のおそれがあります)

9 電源を入れる



10 スタート/ストップを押す (ポビンが回転し、下糸巻きがスタート)

- フットコントローラーを使うとき (P.21)

11 回転がゆっくりになったら

- **スタート/ストップ**を押す または (下糸巻きが止まる)

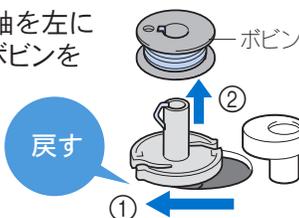
注意

- 回転がゆっくりになったら、すぐに止める(止めないと、故障のおそれがあります)

12 糸を切る

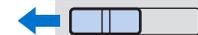


13 下糸巻き軸を左に戻して、ポビンを外す



- 戻さないと、縫製できません。(針が動かないため)

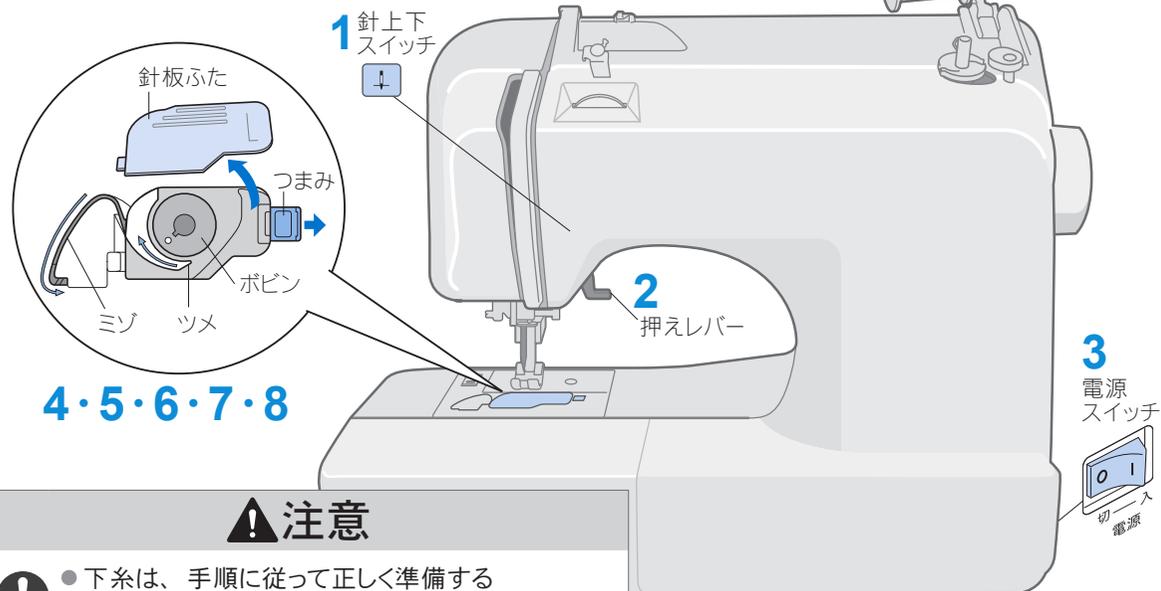
14 スピードコントロールレバーを元の位置に戻す



下糸を準備する

下糸をセットする

下糸を巻いたボビンを、ミシンにセットします。



4・5・6・7・8

注意

- 下糸は、手順に従って正しく準備する
(手順どおり行わないと、故障や針などの折れ・曲がり、糸調子不良、糸の切れ・からまりのおそれがあります)

- 下糸を引き出してからぬうとき
下糸をボビンに巻いたあとの手順が通常と異なります。(P.14)

準備する

- 針上下スイッチを押して、針を上げる
- 押えレバーを上げる
- 電源を切る

注意

- 必ず電源を切る
(誤操作でミシンが作動すると、けがのおそれがあります)
- 針板ふたを外す

ボビンをセットする

- 図のように持ったまま、かまに入れる
- bマークのある面を上
(P.11の手順1と同じ面を上)
- 左巻き
- かま
- 持ったまま

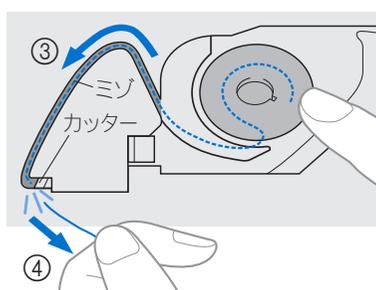
下糸を通す

- ボビンを指で押さえ、正しい方向から糸が出るようにセットする(逆方向にすると、針折れや糸調子不良のおそれがあります)

注意

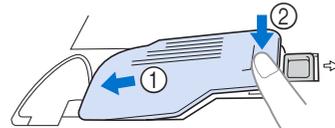
- ボビンは指で押さえ、正しい方向から糸が出るようにセットする(逆方向にすると、針折れや糸調子不良のおそれがあります)

- 糸をミゾにそって通し、切る



- 必ず手順に従ってセットする。
(糸をミゾにはめこむだけでは、縫製不良や糸調子不良のおそれがあります)
- 糸を針板カバーのツメにかけ、②の位置で軽く引っ張ることで、内かまの板パネの間に糸が入り、ぬうときに下糸に適切な張力を加えられます。

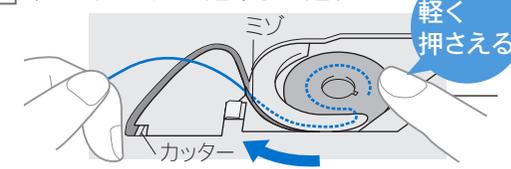
- 針板ふたを取り付ける



下糸を引き出してからぬうとき

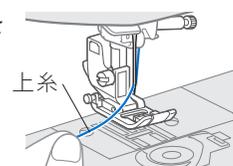
ギャザーやフリーモーションキルトをぬうときなど、ぬい始めの糸を始末したいときに。

- 上糸を通す (P.15~16)
- ボビンをかまに入れる (P.13の手順4と5を行う)
- 糸をミゾにそって途中まで通す



- カッターで糸を切らない。
- 針板ふたは外したままにする。

- 上糸の端を軽く持つ



- 電源を入れる

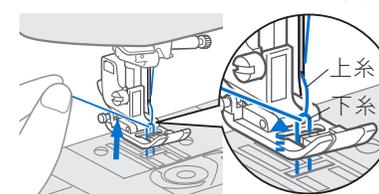


- 針が上がっている状態で、針上下スイッチを押す

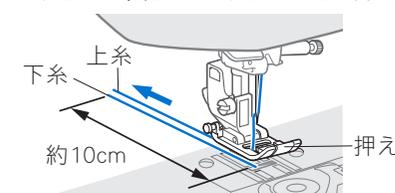
- 電源を切る



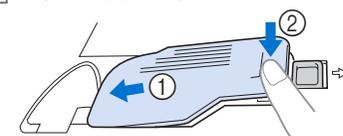
- 上糸をゆっくり上に引き、下糸の端を引き出す



- 下糸を引き出し、上糸とそろえて押えの下に通す

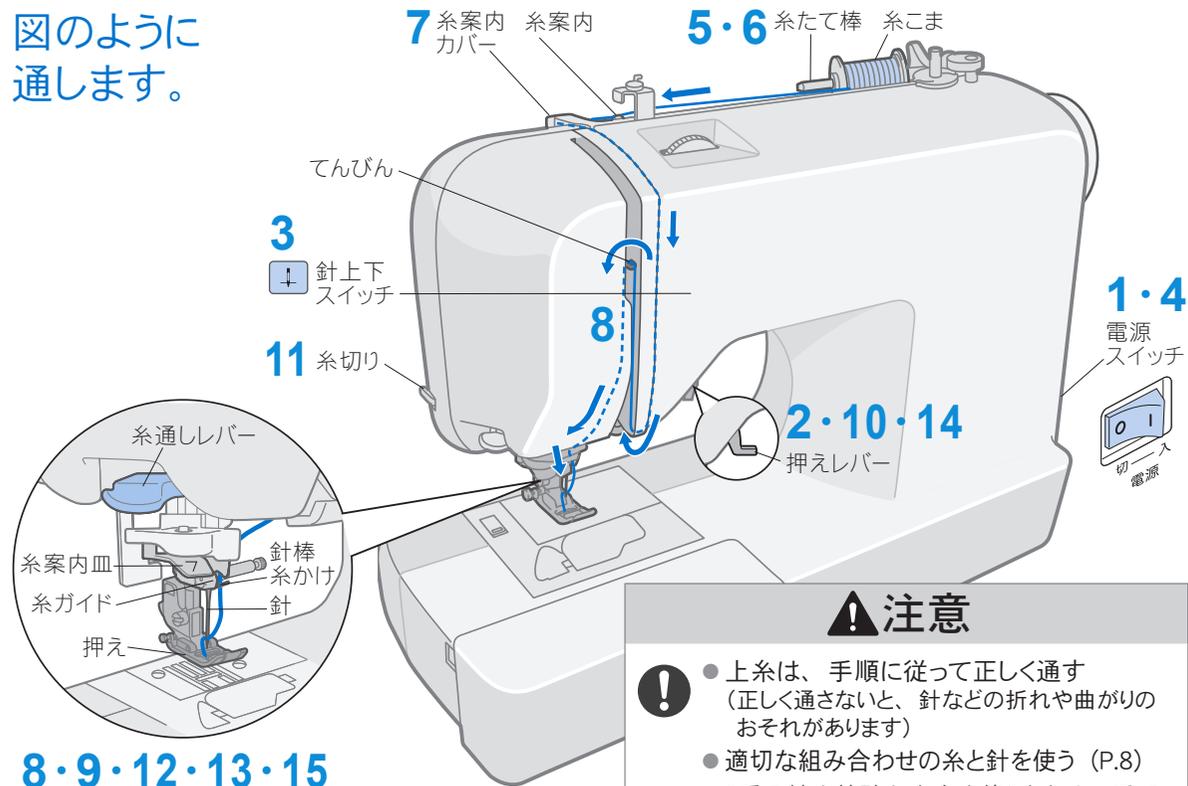


- 針板ふたを取り付ける



上糸を通す

図のように通します。



注意

- 上糸は、手順に従って正しく通す (正しく通さないと、針などの折れや曲がりのおそれがあります)
- 適切な組み合わせの糸と針を使う (P.8)
- 9番の針や特殊な上糸を使うときは、手で針に糸を通す (P.16下部参照)

8・9・12・13・15

押えと針を上げる

- 1 電源を入れる
- 2 押えレバーを上げる シャッターが開く
- 3 を押して、針を上げる (1回または2回) 針が上がる
- 4 電源を切る

上糸用の糸こまをセットする

- 5 ① 下へ つまみ 糸こま押え ② ここは持たない
 - 6 ① 糸こま押え 丸みを帯びた平らな面 ② 糸こま 糸が正面下から出る向きに (からまりを防止)
- 注意**
- 糸こま押えは、糸こまの大きさに合ったものを使う (P.11)

上糸を通す

- 7 糸案内カバー 糸案内 ピンと張ってかける
- 8 ミズにそって てんびん 針棒 糸かけ ツメの下を通す 左に
- 9 すき間の奥まで入れる 糸案内皿 糸ガイドのミズ
- 10 押えレバーを下げる 押えレバー 押えが下がる
- 11 糸を切る 糸切り

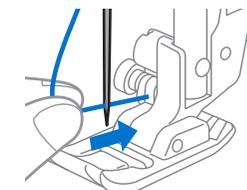
針に上糸を通す

- 12 糸通しレバーをフックが回転するまで下げ、ゆっくり戻す 糸通しレバー フック 自動的に糸が通る
- 13 針穴に通った糸の輪を引き出す 糸の輪 無理に引っ張らない
- 14 押えレバーを上げる 押えレバー 押えが上がる
- 15 糸を押えの下に通し、後ろへ引き出す 押え 約10cm

9番の針や特殊な上糸*を使うとき

*メタリック糸やナイロン透明糸など。
糸通し装置では針に糸を通せないため、手で通します。

- 1 手順1から8を行う
 - 必ず電源を切っておく。
- 2 押えレバーを下げる
- 3 手で糸を針に通す
- 4 手順14と15を行う



模様を設定する

操作パネル

■ 実用模様するとき

2 実用ぬいキー



ぬい目の長さ調節キー

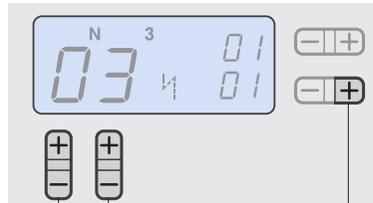


3 模様選択キー

ジグザグの振り幅調節キー

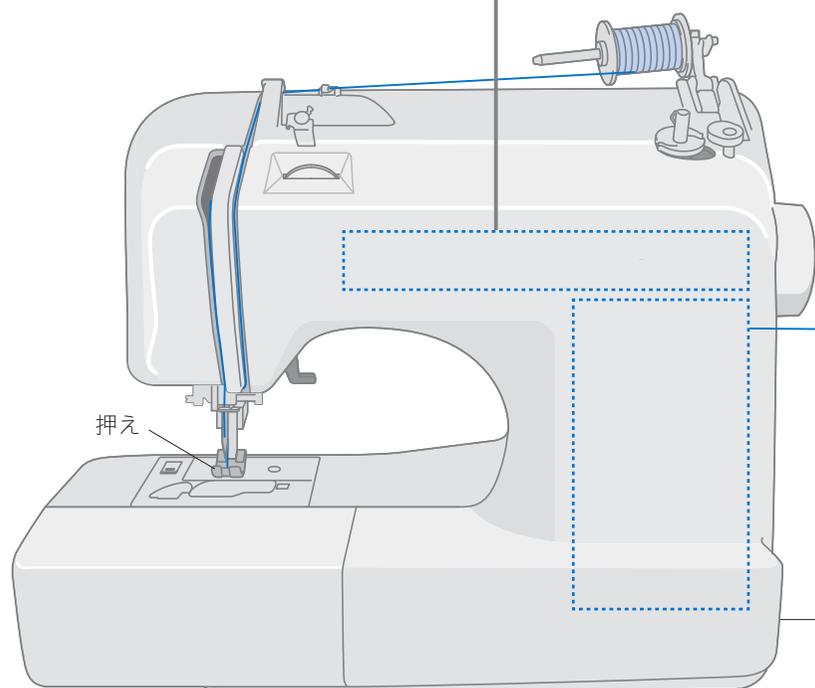
■ 文字模様するとき

2・3 文字ぬいキー



4 模様 (文字) 選択キー

5 文字追加キー



模様の種類(例)



■ 模様早見表 (P.33~34)



注意

- ぬい目がつまる時は、ぬい目の長さを粗くする(つまったままぬいと、針の折れや曲がりのおそれがあります)
- 振り幅を調節したときは、プーリーをゆっくり手前に回し、針が押えに当たらないことを確認する(当たると、針の折れや曲がりのおそれがあります)

お知らせ

- 画面に $\frac{1}{2}$ が表示された場合は、自動的に止めぬいをします。(P.22)
- ぬい目の長さや振り幅を表す表示は、値によって変わります。
(標準値のとき: ! ! 、標準値以外のとき: ! !)
- 電源を切ると、登録した模様は消えます。

実用模様

1 電源を入れる

2 実用ぬい を押す
点灯

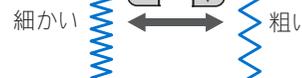
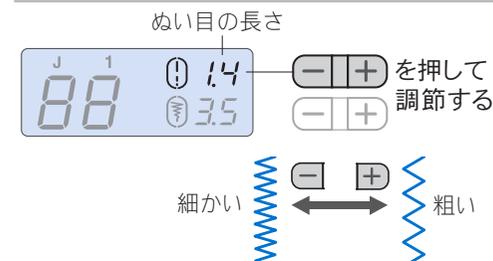
3 模様を番号で選ぶ
 番号 00 01 02 ...
模様 を押して選ぶ

4 押えの種類を確認する
 押えの種類 (P.7)

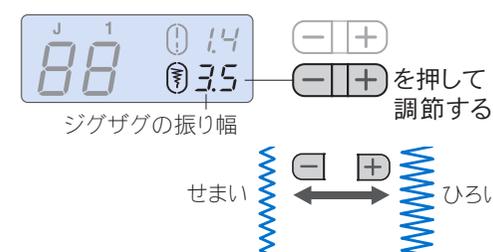
模様を調節するとき

上記の手順3で模様を選んだあと、調節します。

ぬい目の長さの調節



振り幅の調節



● 「-.-」と表示されているときは、調節できません。

文字模様

例) 「C」(文字模様番号: 03) をぬう

1 電源を入れる

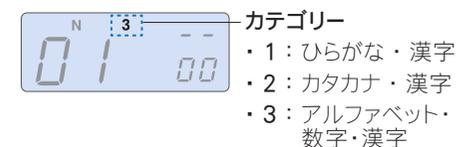
2 文字ぬい を押す
点灯

- 右上に数字が表示されていないことを確認する。
→ 表示される場合は、文字が登録されているため削除する。(P.19)



3 文字の 카테고리 を選ぶ

文字ぬい を押して選ぶ



4 文字を番号で選ぶ (P.34)



5 文字を確定する

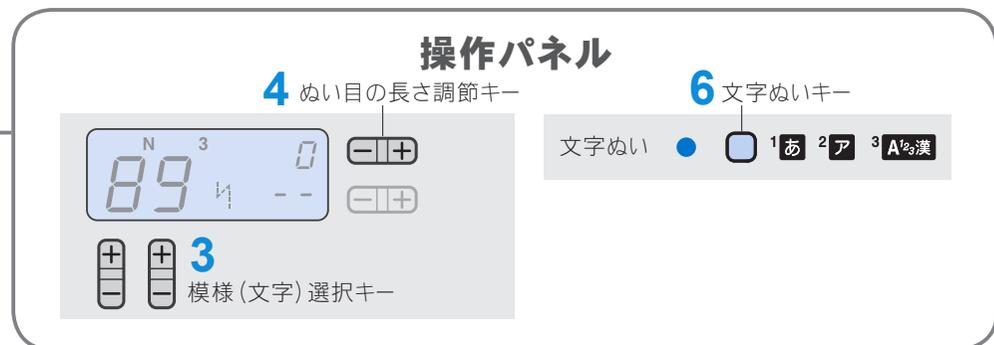
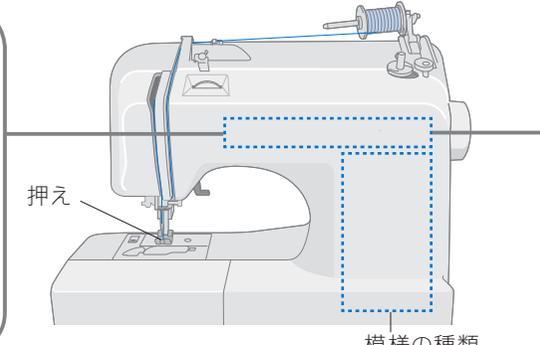


6 押えの種類を確認する



- 文字模様のぬい方(P.19の手順5と6を参照)
- 複数の文字模様を続けてぬうとき(P.19)

模様を設定する



準備

複数の文字模様を続けてぬうとき

最大 35 文字まで、続けてぬえます。
例)「ABC (文字模様番号: 01・02・03)」をぬう

- 1文字目の「A」(文字模様番号: 01)を選ぶ(P.18)
- 「B」(文字模様番号: 02)を選ぶ
- 手順2を繰り返し、「C」(文字模様番号: 03)を選ぶ
- 登録した文字と順番を確認する(下記参照)

- 5 模様ぬい押え<N>を取り付けていることを確認し(P.7)、ぬう



- 6 ぬい終わったら、糸を始末する

■ 登録した文字列を確認するとき

登録順
文字模様番号 登録した文字の総数

を押して確認する
● 押すたびに、登録した文字の文字模様番号と登録順が順に表示される。

■ 文字を削除するとき

を押すと削除される(最後の文字のみ)

登録した文字の総数

● 最後の文字以外は、削除できません。

- お知らせ**
- 「_」(文字模様番号: 57) でスペースが登録できます。
 - 文字は、1文字目から順番にしか登録できません。(文字列の最初や途中に追加することはできません)
 - ぬい終わった文字列への文字の追加はできません。
 - ぬい終わったあとに文字を登録すると、前回の文字列は消えます。

文字模様の調整をするとき

布地の種類や厚み、接着芯の種類、ぬう速さなどにより、模様がくずれる場合があります。その場合は、実際にぬうものと同じ状態で試しぬいをし、模様の調整をしてください。
例)「034 (文字模様番号: 63・66・67)」をぬう

- 1 文字模様「034」をぬう(P.19)
 - 2 文字の形やつまり具合を確認する
 - 文字間が少しあき、バランスがよい。
 - 文字がくずれていない。
- ✗ つまりすぎ
 - 文字同士がくっついている。
 - 文字がくずれている。
- ✗ のびすぎ
 - 文字間があきすぎている。
 - 文字がくずれている。
 - 「0」の輪郭が繋がっていない。
- ➡ ✗ の場合、調整する。

- 3 「89」を選んで、模様調整モードにする

「--」が表示される
を押して「89」(模様調整モード)を選ぶ
- 4 調整する

ぬい目調整値 (-9~9)

を押して調整する

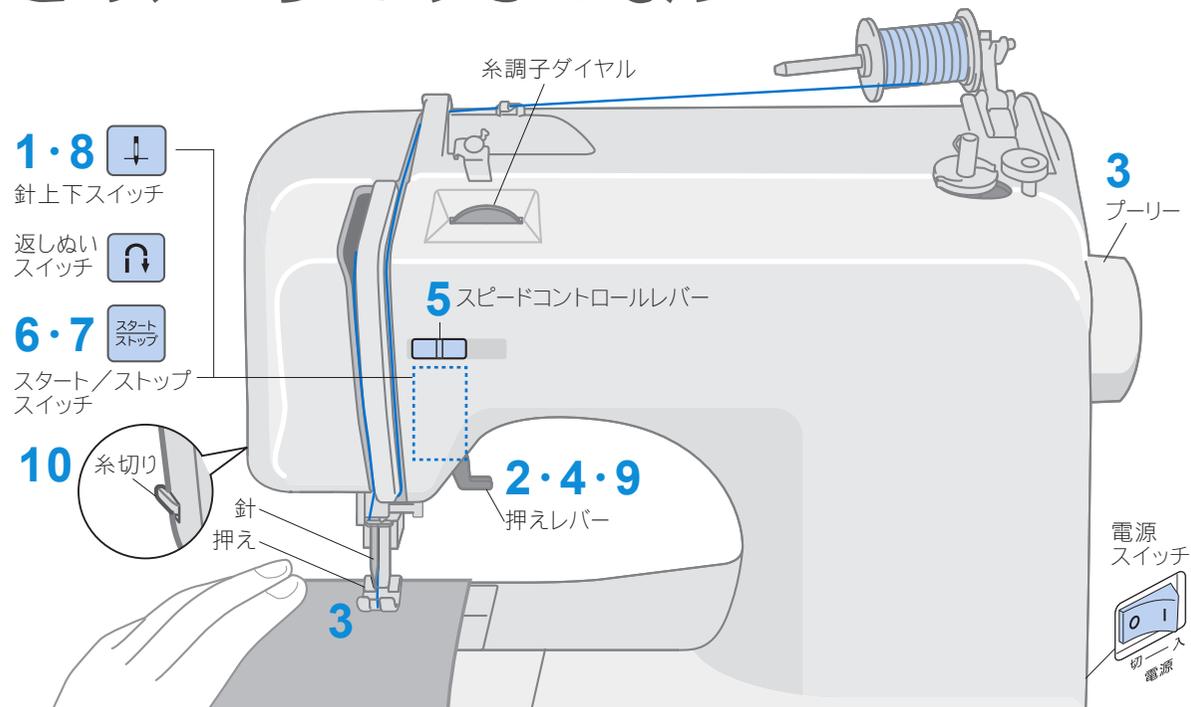
つまる ◀ ▶ 広がる
- 5 再度「034」をぬって確認し、正しくぬえるまで調整する
 - 模様調整モードのままでも、ぬえます。
- 6 調整が終わったら

文字ぬい ● ◻ を押す

(「89」の表示が消え、通常の縫製モードに戻る)

- お知らせ**
- 電源を切っても、調整値は保存されます。

さあ、ぬってみましょう



1・8 針上下スイッチ

返しぬいスイッチ

6・7 スタート/ストップスイッチ

10 糸切り

注意

- ミシン操作中は、針やプーリーなど、動いている部品に手を近づけない（けがのおそれがあります）
- 縫製中は、布地を無理に引っ張ったり押ししたりしない（けがや針折れのおそれがあります）
- 曲がった針は使わない（針折れのおそれがあります）
- 縫製中は、針にまち針などが当たらないように注意する（当たると、針の折れや曲がりのおそれがあります）
- 模様に適した押えを使う（P.33～34）（誤ると、針の折れや曲がりのおそれがあります）
- 押えに糸がからんだときは、糸を取ってから押えを外す（からんだまま外すと、押えの破損のおそれがあります）

■ フットコントローラー（別売）を使うとき

- MODEL T または MODEL S のフットコントローラーを使う（純正品以外の付属品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります）※純正品以外のものすべてが必ず不具合を起こすわけではありません。
- 必ず、電源を切ってから接続する（切らないと、誤ってミシンがスタートするおそれがあります）
- 長期間使わないときは、フットコントローラーのプラグをジャックから抜く（抜かないと、火災や感電のおそれがあります）

フットコントローラー（別売）を使うとき

- 1 電源を切る
- 2 接続する
フットコントローラー
ジャック
- 3 電源を入れる
- 4 ゆっくり踏み込み、ぬう
● ぬう速さを調節するとき
● 最高速度を調節するとき
- 5 ぬい終わりまできたら、足を離す

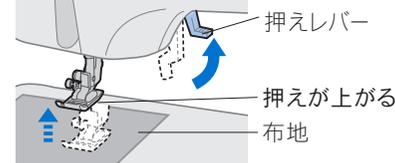
お知らせ

- フットコントローラーの接続時は、スタート/ストップを押しても動きません。

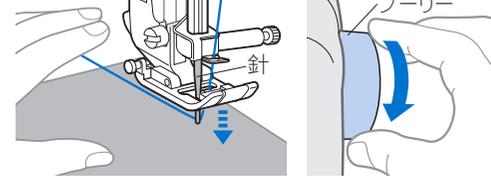
1 針上下スイッチを押して、針を上げる



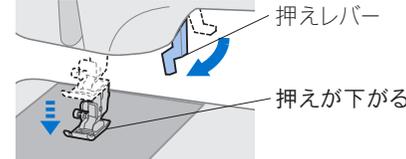
2 押えレバーを上げ、布地を置く



3 布地に針を刺す



4 押えレバーを下げる



5 ぬう速さを調節する



6 スタート/ストップを押して、ぬう

- 押している間とぬい始めは、ゆっくりぬいます。
 - ぬい始めと、ぬい終わりは
- 返しぬいか止めぬいをする。（右記参照）

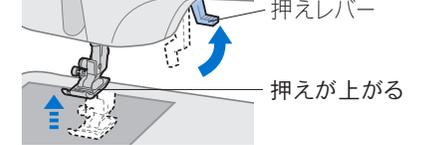
7 ぬい終わったら

スタート/ストップを押して、止める

8 針上下スイッチを押して、針を上げる



9 押えレバーを上げる



10 布地を引き出し、糸を切る



ぬい始めと、ぬい終わりは

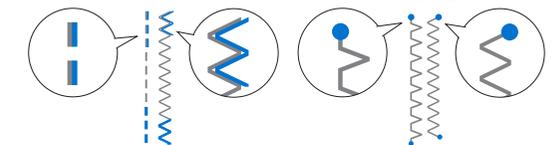
手順6では、糸の端がほつれないように返しぬいか止めぬいをしてください。

- ボタン穴かがりやかんどめ、文字模様をぬうときは、自動的に止めぬいをします。（文字模様は1文字ごとに）

■ 返しぬい / 止めぬいのしかた

返しぬい/止めぬいスイッチを押している間、設定している模様によって返しぬいか止めぬいをします。（P.33～34）

- 直線・ジグザグ模様 → 返しぬい（反対方向にぬう）
- 左記以外の模様 → 止めぬい（同じ場所で3～5針ぬう）



停止時の針位置を変えるとき

ぬう方向を変えてぬうことがあまりない場合は、針が上がった状態でミシンが止まるように設定できます。

1 電源を切る



2 減速ボタンを押しながら、電源を入れる



- 再度同じ操作をすると、元の設定に戻ります。

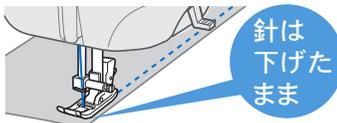
上手にぬうコツ

まず、試しぬいをしましょう。

布の種類やぬい方によっては必ずしも思いどおりにならないことがあります。実際の布地のはぎれと糸を使って、実際にぬうものと同じ状態で試しぬいをしてください。

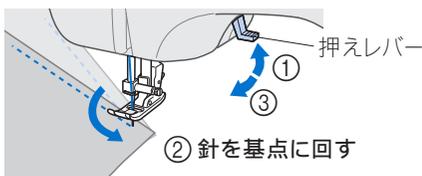
ぬう方向を変えるとき

1 角までぬったら、ミシンを止める



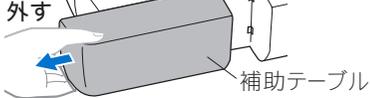
- 針が上がっている場合は、 を押す。

2 押えレバーを上げて布を回し、押えレバーを下げて続きをぬう

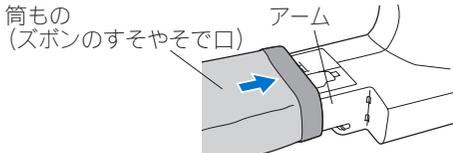


筒ものをぬうとき

1 外す



2 アームに通して、ぬう

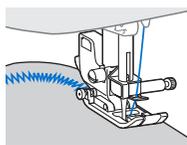


- ぬい終わったら、補助テーブルを戻す。

カーブをぬうとき

途中で止めながら、少しずつ向きを変えてぬう

- ジグザグ模様のときは、ぬい目の長さを短めにする。(きれいに仕上がります)



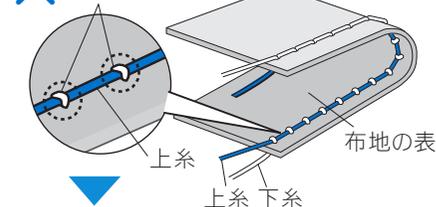
糸調子（上糸の強さ）の調節は

糸調子により、ぬい目が弱かったり、布地にしわがよったりします。また、布や糸を変えると、ぬい目の仕上がりが変わります。

- 糸調子が正しいときは、布地の表からは上糸だけ、裏からは下糸だけが見えます。
- 次の場合は、糸調子を調節します。

■ 布地の表に下糸が見えるとき（上糸が強い）

✗ 下糸が見える



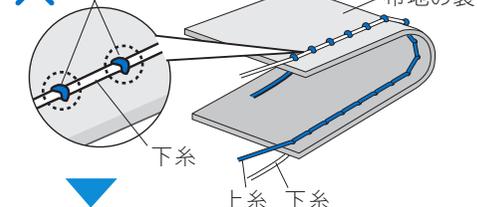
上糸を弱くする



- 調節しても直らないときは、下糸をセットし直す。(P.13)

■ 布地の裏に上糸が見えるとき（上糸が弱い）

✗ 上糸が見える



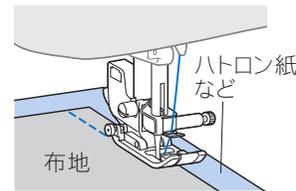
上糸を強くする



- 調節しても直らないときは、上糸をセットし直す。(P.15)

薄い布地をぬう

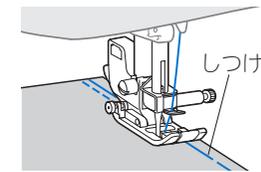
ぬい目がつれたり、布地がうまく送れないときは、薄い紙を敷いて一緒にぬいます。



- ぬい終わったら、紙はやぶって取る。

伸びる布地をぬう

布地を引っ張らないようにしつけをしてぬいます。

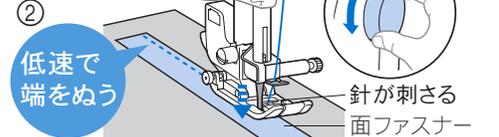


- 伸縮ぬい (P.29) やニット用の糸を使うと、きれいにぬえます。

面ファスナー（マジックテープ®）をぬう

1 ミシンでぬう前に、しつけをして、面ファスナーと布地をぬい合わせる

2 ぬう



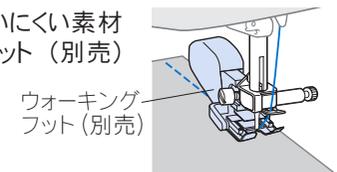
- 針が通らない場合は、厚地用の針と糸 (P.8) に交換する。
- 「マジックテープ®」は、株式会社クラレの、面ファスナーの登録商標です。

注意

- 細い針 (9~11番) でぬわない (針の折れや曲がりのおそれがあります)
- 面ファスナーは、のりが付いていない縫製用を使う (のりが針やかまに付くと、故障のおそれがあります)

ビニールや皮革をぬう

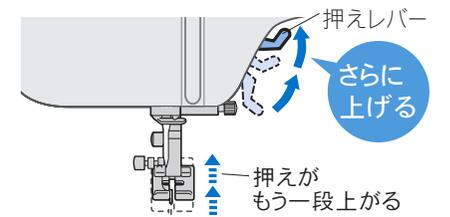
押えに貼り付いてぬいにくい素材には、ウォーキングフット (別売) を使います。



- 使える模様 (P.33~34)

厚い布地をぬう

■ 押えの下に布地が入らないとき

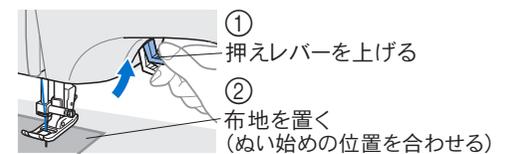


■ ぬい始めに段差があって布地を送れないとき

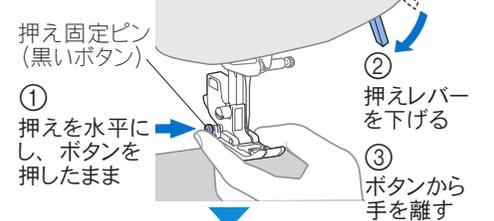
ジグザグ押え<J>を使ってぬう。



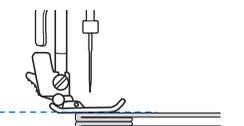
1



2

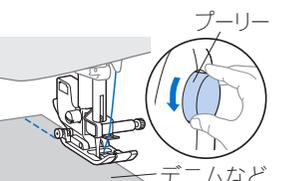


- 押えが水平になり、布地が送られる。(ぬい始めると、押えは元に戻る)



■ 特に厚い布地のとき

ぬい始めにプーリーを手で回してから、ぬう。

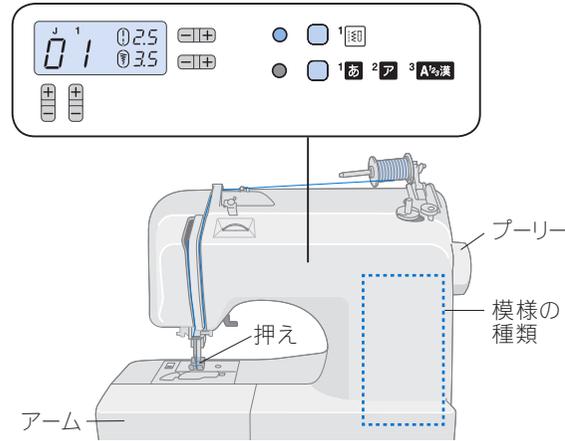


注意

- 針の折れや曲がりを守るために
 - 6mm以上の厚物はぬわない
 - 無理に布地を押し込まない (布地の種類によって、ぬえる厚さは異なります)

実用ぬい 1

操作パネル



直線ぬい

基本となる直線ぬいをします。

名称	直線		3重ぬい
	左基線	中基線	
模様	00 地ぬい、ギャザー、 ピンタックなど	01 ファスナーつけ、 地ぬい、ギャザー、 ピンタックなど	02 そで股下ぬい、 ぬい目を丈夫に したいとき、 伸びる布地の とき、飾りぬい
押え	J		

- ぬい合わせるところをしつけまたは、まち針でとめる
- 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)
- 電源を入れ、模様を設定する(P.17)
- プーリーを手前に回して針を刺し、ぬう

針位置を左右に変えるとき

模様の振幅を変更することで、針位置を変えられます。(P.18)



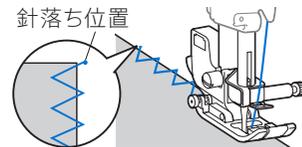
布端の始末

ぬいしろや、たち目を始末します。

名称	3点ジグザグ		たち目かがり		
	04	05	06	07	08
模様	通常の ほつれ止め、 アップリケの ぬいつけ	厚地・伸び る布地の ほつれ止め、 ゴムひもつけ	普通地・ 薄地の ほつれ止め	厚地・ほつ れやすい 布地の ほつれ止め	伸びる布地 のほつれ 止め
押え	J		G		

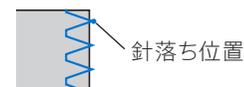
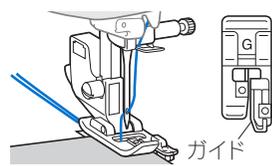
押え<J>を使う模様をぬうとき

- 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)
- 電源を入れ、模様を設定する(P.17)
- 布端より少し外側に針を落としてぬう



押え<G>を使う模様をぬうとき

- 電源を切り、たち目かがり押え<G>を取り付ける(P.10)
- 電源を入れ、模様を設定する(P.17)
 - 必ず、たち目かがり用の模様を設定する。(誤ると、針の折れや押えの破損のおそれがあります)
- 布地をセットし、押えレバーを下げる
 - 布地の端をガイドに合わせる。
- プーリーをゆっくり手前に回し、針が押えに当たらないことを確認する
- ガイドにそわせてぬう



- ぬい終わったら、布地を後ろに引く。(前や横に引くと、押えのピンが破損するおそれがあります)

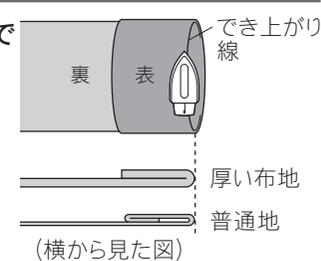
すそ上げ

スカートやズボンのすそをまつります。

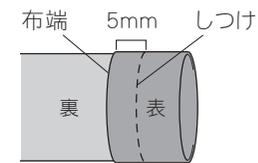
名称	まつりぬい	
	左基線	中基線
模様	09 普通地するとき	10 伸びる布地するとき
押え	R	

1 スカートやズボンを裏返す

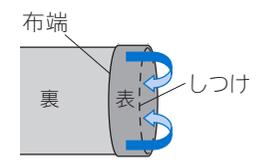
- でき上がり線で表に返し、アイロンをかける



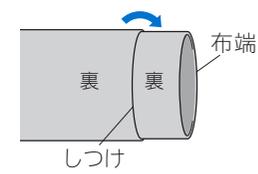
- チャコペンでしるしを付け、しつけをする



- しつけをしたところから、内側に折る



- 布端を開いて裏返す



- 電源を切り、まつりぬい押え<R>を取り付ける(P.10)

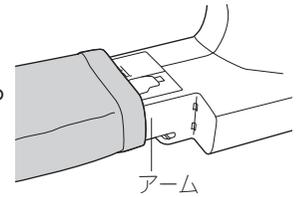
- 電源を入れ、模様を設定する(P.17)

- 補助テーブルを外す(P.5)

9

アームに布地を入れる

- 布地が回せることを確認する。



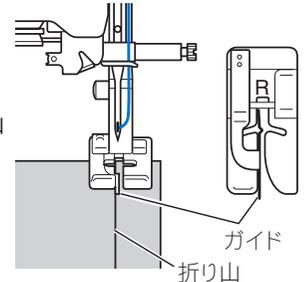
お知らせ

- 筒が小さすぎてアームに入らないときや筒の長さが短いときは、布地がうまく送られず、きれいに仕上がらないことがあります。

10

布地をセットし、押えを下げる

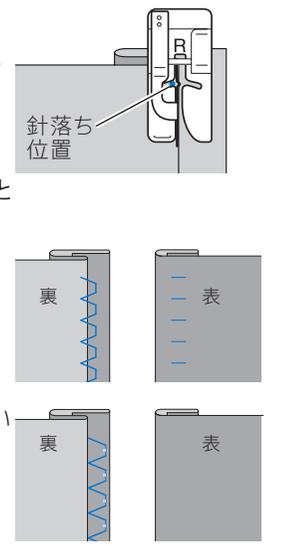
- ガイドに折り山を合わせる。



11

プーリーをゆっくり手前に回して針を下げる

- 針が折り山に少しかかることを確認する。
- 針がかかりすぎているとき → 針位置を右へ。(P.25)
- 針がかかっていないとき → 針位置を左へ。(P.25)

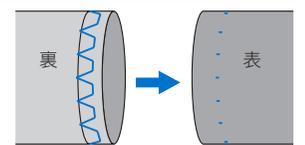


12

折り山に押えのガイドをそわせてぬう

13

しつけをほどき、布地を表に返す



実用ぬい2

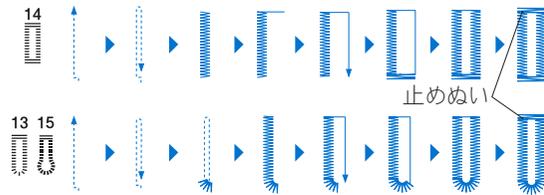
ボタン穴かがり

ボタン穴を作ります。(直径+厚みが約28mm以下のボタン用)

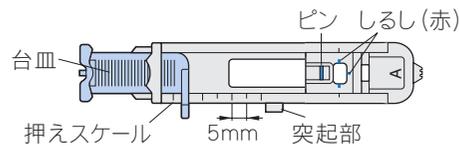
- ぬい目の長さや振り幅を確認するため、必ず試しぬいをする。

名称	ボタン穴かがり		
模様	13 薄地・普通地のねむり穴、横穴	14 張りのある素材の両止め用	15 厚地・毛足の長い布地のはとめ穴、横穴
押え	A		

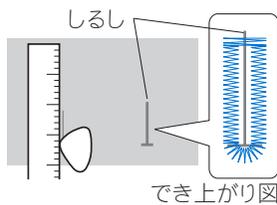
- ボタン穴かがりは次の順でぬわれます。



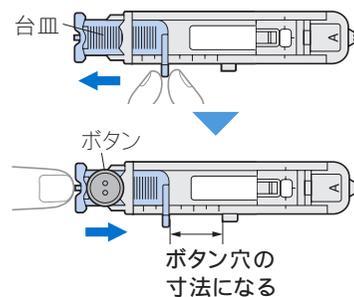
- ボタン穴かがり押え<A>を使ってぬいます。



1 ボタン穴かがりをする位置にしるしを付ける(チャコペンなどで)

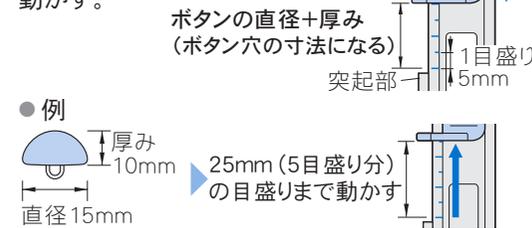


2 ボタン穴かがり押え<A>の台皿を引き出し、ボタンをはさむ

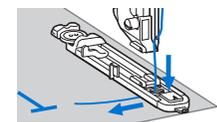


■ ボタンが台皿にのらないとき

突起部から台皿までの長さが「ボタンの直径+厚み」になるように、目盛りに合わせて台皿を動かす。



3 押えを取り付ける前に、上糸を押えの穴から下に通す

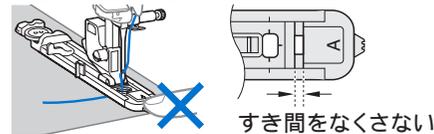


4 電源を切り、ボタン穴かがり押え<A>を取り付ける(P.10)

5 電源を入れ、模様を設定する(P.17)

6 押えのしるし(赤)と布地のしるし(手前側)を合わせ、押えを下げる

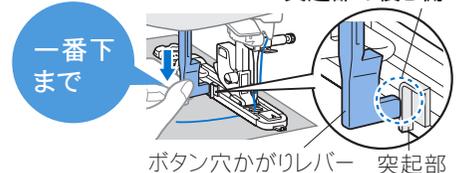
- 押えを下げる時、押えの手前部分を押さない。(正確な大きさにぬえません)



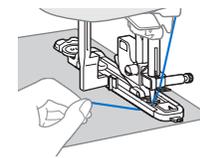
●お知らせ

- しるしの位置を合わせにくい場合は、プーリーをゆっくり手前に回して針が刺さる位置を確認し、そこに布地のしるしを合わせます。

7 ボタン穴かがりレバーを引き下げる突起部の後ろ側へ



8 左手で上糸を軽く持ち、スタートする

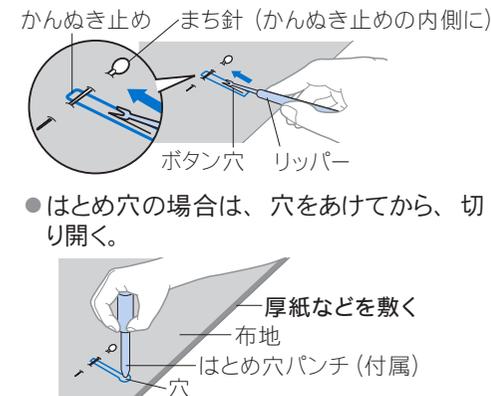


- 厚地などで布地が進まないときは、ぬい目を粗くする。(P.18)
- 自動的に止めぬいをします。(P.22)

9 ぬい終わったら、

- ① ↓ を押して、針を上げる
- ② 押えを上げて布地を取り出す
- ③ 糸を切る
- ④ ボタン穴かがりレバーを戻す

10 ぬった部分を切らないように、ボタン穴を切り開く



⚠ 注意

- リッパーで穴をあける方向に、手や指を置かない(すべると、けがのおそれがあります)

ファスナーつけ

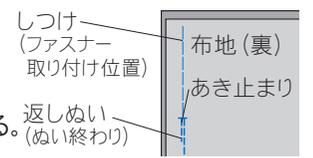
- 押えの位置を針の右や左に変えると、いろいろな種類のファスナーをつけられます。

名称	直線(中基線)	
模様	01	ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど
押え	J、I	

1 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)

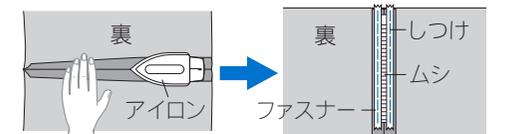
2 布地を中表にし、あき止まりまでぬう

- 直線ぬいをする。(ぬい終わり)



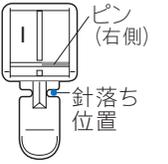
3 ぬいしろを割り、裏からアイロンをかけ、しつけをする(P.10)

- ぬい目とファスナーの中央を合わせる。



4 電源を切り、片押え<I>のピンの右側を押えホルダーに取り付ける(P.10)

- ムシが押えの左側にくるようにぬうときは、ピンの左側に取り付ける。



5 電源を入れ、模様を設定する(P.17)

6 押えの右側にファスナーのムシがくるように、ぬい進める表面を上

- ぬい終わったら、しつけをほく。

- ぬう前にプーリーを手前に回して針が押えに当たらないことを確認する。
- 針がファスナーのムシに当たらないように注意する。
- ファスナーのスライダーが押えに当たる場合は、針が布地に刺さった状態でいったん押えを上げ、スライダーを当たらない位置まで動かしたあと、押えを下げてぬう。

⚠ 注意

- 直線(中基線)以外の模様を選ばない(針が押えに当たり、折れ・曲がりやけがおそれがあります)

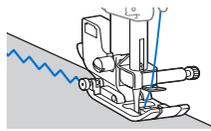
実用ぬい 3

伸びる布地／ゴムひもつけ

名称	伸縮ぬい	3点ジグザグ
模様	03 ⚡ 伸びる布地、飾りぬい	05 ⚡ 厚地・伸びる布地のほつれ止め、ゴムひもつけ
押え	J	

伸縮ぬい

- 1 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)
- 2 電源を入れ、伸縮ぬいの模様を設定する(P.17)
- 3 布地を伸ばさないように、ぬう



ゴムひもつけ

- そで口などにゴムひもをぬいつける場合は、ゴムひもが縮んでいる状態ができ上がり寸法です。

- 1 まち針でゴムひもをとめる
 - 布地の裏側
 - ゴムひも
 - まち針
 - 布地とゴムひもが均等になるように
- 2 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)
- 3 電源を入れ、3点ジグザグの模様を設定する(P.17)
- 4 ゴムひもが布地と同じ長さになるように、伸ばしながらぬう
 - 引っ張る
 - 針に当たらないように
 - 引っ張る

ぬい目の補強

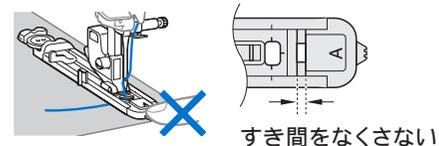
名称	かんどめ	3重ぬい
模様	16 ⦿ ポケット口などのあき止まりの補強	02 ⦿ そで股下ぬい、ぬい目を丈夫にしたいとき、伸びる布地のとき、飾りぬい
押え	A	J

かんどめ

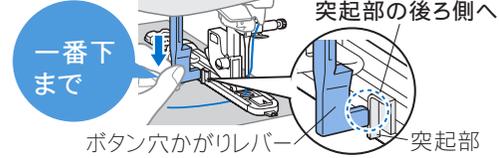
ポケット口やあき止まりなど、かんどめ力のかかる部分を補強します。

- 1 かんどめの長さを決める
 - ボタン穴かがり押え<A>
 - 台皿
 - かんどめのでき上がり寸法(最大約28mm)
 - 1目盛り
 - 5mm
- 2 押えを取り付ける前に、上糸を押えの穴から下に通す
- 3 電源を切り、ボタン穴かがり押え<A>を取り付ける(P.10)
- 4 電源を入れ、かんどめの模様を設定する(P.17)
- 5 ポケット口から2mm手前に針が刺さる位置で押えを下げる
 - ポケット口が手前
 - 針位置
 - 2mm

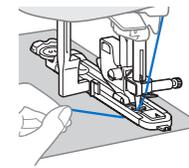
- 押えを下げる時、押えの手前部分をpushさない。(正確な大きさにぬえません)



- 6 ボタン穴かがりレバーを引き下げる



- 7 左手で上糸を軽く持ち、スタートする
 - 厚地などで布地が進まないときは、ぬい目を長く(粗く)する。(P.18)
 - 自動的に止めぬいをします。(P.22)



- 8 ぬい終わったら、

- ① ↓を押して針を上げる
- ② 押えを上げて布地を取り出す
- ③ 糸を切る
- ④ ボタン穴かがりレバーを戻す

3重ぬい

そでぐりや股ぐりなど、ぬい目を丈夫にします。

- 1 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)
- 2 電源を入れ、3重ぬいの模様を設定してぬう(P.17)

飾りぬい

名称	飾りぬい					ファゴティング
模様	20 ⦿	21 ⦿	22 ⦿	23 ⦿	24 ⦿	12 ⦿
押え	N					J

飾りぬい

- 1 電源を切り、模様ぬい押え<N>を取り付ける(P.10)
- 2 電源を入れ、飾りぬいの模様を設定してぬう(P.17)

ファゴティング

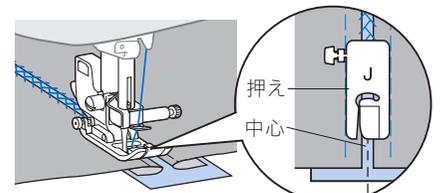
布地と布地の間を離して糸でかがります。(ブラウスや子供服などに)

- 太い糸を使うと、きれいに仕上がります。

- 1 布地をでき上がり線で折り、アイロンをかける
- 2 薄い紙に布地をしつける
 - 4mmあける
 - しつけ
 - 布地
 - 布地
 - ハترون紙など

- 中央に線を書いておくと、ぬいやすい。

- 3 電源を切り、ジグザグ押え<J>を取り付ける(P.10)
- 4 電源を入れ、ファゴティングの模様を設定する(P.17)
- 5 模様の振り幅を7mmに設定する(P.18)
- 6 押えの中心を布と布の中心に合わせて、ぬう



- ぬい終わったら、紙をやぶって取る。

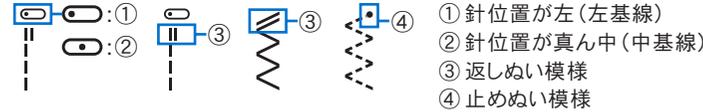
模様早見表

ぬいたい模様を選び、(文字)模様番号と押えの種類を確認します。

実用模様

- 「自動」は模様を選んだときに設定されている数値です。
- 「手動」はお好みで調節できる設定の範囲です。

● 模様のイメージ記号



- ① 針位置が左(左基線)
- ② 針位置が真ん中(中基線)
- ③ 返しぬい模様
- ④ 止めぬい模様

名称	模様	模様番号	押え	用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		ウォーキングフット	返しぬいスイッチ	
					自動	手動	自動	手動			
直線	左基線	00 01	00	J	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど	0.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○*1	返しぬい
	中基線		01	J	ファスナーつけ、地ぬい、ギャザー、ピンタックなど	3.5	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 5.0	○*1	返しぬい
3重ぬい		02 03	02	J	そで股下ぬい、伸びる布地、飾りぬい、ぬい目を丈夫にしたいとき	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.5 - 4.0	×	止めぬい
伸縮ぬい			03	J	伸びる布地、飾りぬい	1.0	1.0 - 3.0	2.5	1.0 - 4.0	×	止めぬい
ジグザグ		04 05	04	J	通常のほつれ止め、アップリケ布のぬいつけ	3.5	0.0 - 7.0	1.4	0.0 - 4.0	○*1	返しぬい
3点ジグザグ			05	J	厚地・伸びる布地のほつれ止め、ゴムひもつけ	5.0	1.5 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×	止めぬい
たち目かがり		06 07 08	06	G	普通地・薄地のほつれ止め	3.5	2.5 - 5.0	2.0	1.0 - 4.0	×	止めぬい
			07	G	厚地・ほつれやすい布地のほつれ止め	5.0	2.5 - 5.0	2.5	1.0 - 4.0	×	止めぬい
			08	J	伸びる布地のほつれ止め	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.5 - 4.0	×	止めぬい
まつりぬい		09 10	09	R	普通地のまつりぬい	0.0	-3 - 3*2	2.0	1.0 - 3.5	×	止めぬい
			10	R	伸びる布地のまつりぬい	0.0	-3 - 3*2	2.0	1.0 - 3.5	×	止めぬい
アップリケ		11 12	11	J	アップリケ布のぬいつけ	3.5	2.5 - 7.0	2.5	1.6 - 4.0	×	止めぬい
ファゴティング			12	J	ファゴティング、飾りぬい	5.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×	止めぬい
ボタン穴かがり		13 14 15	13	A	薄地・普通地のねむり穴、横穴	5.0	3.0 - 5.0	0.5	0.2 - 1.0	×	自動止めぬい
			14	A	張りのある素材の両止め用	5.0	3.0 - 5.0	0.5	0.2 - 1.0	×	自動止めぬい
			15	A	厚地・毛足の長い布地のほつれ穴、横穴	7.0	3.0 - 7.0	0.5	0.3 - 1.0	×	自動止めぬい
かんどめ		16 17	16	A	あき止まりの補強(ポケット口など)	2.0	1.0 - 3.0	0.4	0.3 - 1.0	×	自動止めぬい
手ぬい風直線(キルト用)			17	J	手ぬい風キルト直線	0.0	0.0 - 7.0	2.5	1.0 - 4.0	×	止めぬい
アップリケ(キルト用)		18 19	18	J	アップリケ、バインディング	1.5	0.5 - 3.5	1.8	1.0 - 4.0	×	止めぬい
			19	J	アップリケ、バインディング	1.5	0.5 - 3.5	1.8	1.0 - 4.0	×	止めぬい
飾りぬい		20 21	20	N	飾りぬい	3.0	0.0 - 7.0	1.0	0.2 - 4.0	×	止めぬい
			21	N	飾りぬい	5.0	0.0 - 7.0	2.0	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		22 23	22	N	飾りぬい	5.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×	止めぬい
			23	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		24 25	24	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×	止めぬい
			25	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	1.4	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		26 27	26	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 4.0	×	止めぬい
	27	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×	止めぬい		

* 1: 返しぬいはしない。 * 2: 数値の単位は、mmではありません。

名称	模様	模様番号	押え	用途	振り幅 (mm)		ぬい目の長さ (mm)		ウォーキングフット	返しぬいスイッチ
					自動	手動	自動	手動		
飾りぬい	28 29	28	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		29	N	飾りぬい	2.5	0.0 - 7.0	2.0	0.2 - 4.0	×	止めぬい
	30 31	30	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	2.0	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		31	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 4.0	×	止めぬい
	32 33	32	N	飾りぬい	5.0	0.0 - 7.0	2.0	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		33	N	飾りぬい	6.0	0.0 - 7.0	1.4	0.2 - 4.0	×	止めぬい
	34 35	34	N	飾りぬい	7.0	0.0 - 7.0	1.6	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		35	N	飾りぬい	6.0	0.0 - 7.0	2.5	0.2 - 4.0	×	止めぬい
	36 37	36	N	飾りぬい	6.0	0.0 - 7.0	1.4	0.2 - 4.0	×	止めぬい
		37	N	飾りぬい	6.0	0.0 - 7.0	1.4	0.2 - 4.0	×	止めぬい
	38 39	38	N	飾りぬい	-	-	0.3	0.2 - 0.4	×	止めぬい
		39	N	飾りぬい	-	-	0.3	0.2 - 0.4	×	止めぬい

文字模様

カテゴリ	模様・文字模様番号															押え	
ひらがな・漢字	01 あ	02 い	03 う	04 え	05 お	06 あ	07 い	08 う	09 え	10 お	11 か	12 き	13 く	14 け	15 こ	N	
	16 が	17 ぎ	18 ぐ	19 げ	20 ご	21 さ	22 し	23 す	24 せ	25 そ	26 ざ	27 じ	28 ず	29 ぜ	30 ぞ		
	31 た	32 ち	33 つ	34 て	35 と	36 だ	37 ぢ	38 づ	39 で	40 ど	41 っ	42 な	43 に	44 ぬ	45 ね		
	46 の	47 は	48 ひ	49 ふ	50 へ	51 ほ	52 ば	53 び	54 ぶ	55 べ	56 ぼ	57 ぱ	58 ぴ	59 ぷ	60 ぺ		
	61 ぽ	62 ま	63 み	64 む	65 め	66 も	67 や	68 ゆ	69 よ	70 や	71 ゆ	72 よ	73 ら	74 り	75 る		
	76 れ	77 ろ	78 わ	79 を	80 ん	81 *3	82 組	83 小	84 中	85 学	86 校						
	01 ア	02 イ	03 ウ	04 エ	05 オ	06 ア	07 イ	08 ウ	09 エ	10 オ	11 カ	12 キ	13 ク	14 ケ	15 コ		N
	16 ガ	17 ギ	18 グ	19 ゲ	20 ゴ	21 サ	22 シ	23 ス	24 セ	25 ソ	26 ザ	27 ジ	28 ズ	29 ゼ	30 ゾ		
	31 タ	32 チ	33 ツ	34 テ	35 ト	36 ダ	37 ヂ	38 ヅ	39 デ	40 ド	41 ッ	42 ナ	43 ニ	44 ヌ	45 ネ		
	46 ノ	47 ハ	48 ヒ	49 フ	50 ヘ	51 ホ	52 バ	53 ビ	54 ブ	55 ベ	56 ボ	57 パ	58 ピ	59 プ	60 ペ		
61 ポ	62 マ	63 ミ	64 ム	65 メ	66 モ	67 ヤ	68 ユ	69 ヨ	70 ヤ	71 ユ	72 ヨ	73 ラ	74 リ	75 ル			
76 レ	77 ロ	78 ワ	79 ヲ	80 ン	81 *3	82 組	83 小	84 中	85 学	86 校	87 ヲ						
01 A	02 B	03 C	04 D	05 E	06 F	07 G	08 H	09 I	10 J	11 K	12 L	13 M	14 N	15 O	N		
16 P	17 Q	18 R	19 S	20 T	21 U	22 V	23 W	24 X	25 Y	26 Z	27 A	28 B	29 C	30 D			
31 E	32 F	33 G	34 H	35 I	36 J	37 K	38 L	39 M	40 N	41 O	42 P	43 Q	44 R	45 S			
46 T	47 U	48 V	49 W	50 X	51 Y	52 Z	53 &	54 ?	55 !	56 -	57 *3	58 (59)	60 ,			
61 ,	62 .	63 0	64 1	65 2	66 3	67 4	68 5	69 6	70 7	71 8	72 9	73 生	74 年	75 月			
76 日	77 才	78 組	79 小	80 中	81 学	82 校	83 火	84 水	85 木	86 金	87 土						

* 3: スペース

お手入れする

お手入れの前に、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。

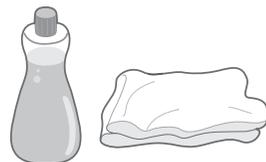
注意

- ベンジン・シンナー・みがき粉は使わない (変色や変形のおそれがあります)
- 電源を切ってから、電源プラグを抜く (抜かないと、けがや感電のおそれがあります)

本体表面の掃除

汚れが気になるときは…

- 1 うすめた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、ふき取る



- 2 からぶきする

注油・保管について

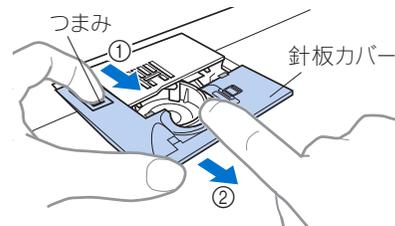
- お客様ご自身で油をささないでください。(故障のおそれがあります)
 - 本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて出荷されていますので、定期的注油する必要はありません。
 - 万一、プーリーを回すと重い、異常な音が出るなどの場合は、ただちに使用をやめ、お買い上げの販売店またはお客様相談室 (マシン119番) にご相談ください。
- 保管場所にご注意ください。(P.2)
- 本製品を末永くご愛用いただくために、ときどき電源を入れて縫製してください。(長期間保管したまま使わない状態が続くと、本製品の性能を損なうおそれがあります)

かまの掃除

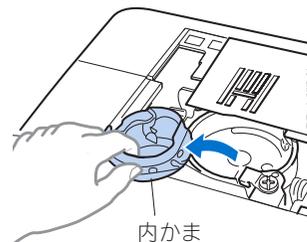
定期的に…

糸くずやほこりがたまると、縫製不良になる場合があります。

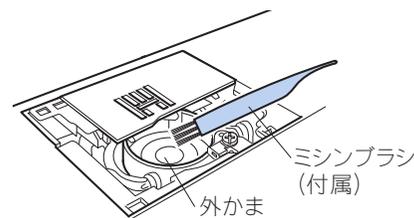
- 1 針と押えを上げる
 - 必ず電源を切り、プラグを抜いていることを確認する。
- 2 押えと針を外す (P.9、P.10)
- 3 針板ふたを外す (P.13)
- 4 針板カバーを外す
 - つまみを手前にスライドさせると、外れる。



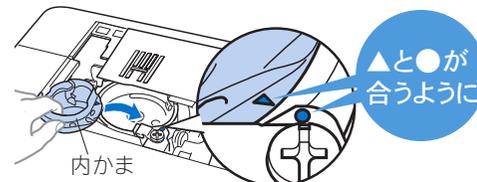
- 5 内かまを取り出す



- 6 外かま周辺の糸くずやほこりを取り除く



- 7 内かまを取り付ける

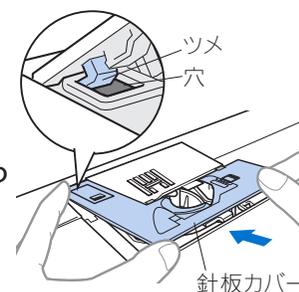


注意

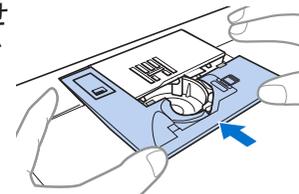
- キズが付いた内かまは、使わない (上糸がからみ、針折れや縫製不良のおそれがあります)
 - 新しい内かまが必要な場合は、最寄りの販売店でお買い求めください。
- 内かまは正しい位置に取り付ける (誤ると、針折れのおそれがあります)

- 8 針板カバーを取り付ける

- ① ツメを穴に差し込み、位置を合わせて置く

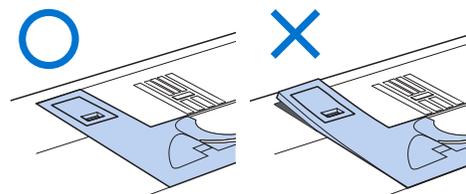


- ② スライドさせて差し込む



注意

- 針板カバーが浮いている場合は、外して取り付け直す (浮いたままめくと、針板カバーが外れ、けがのおそれがあります)



- 9 針板ふたを元に戻す (P.14)

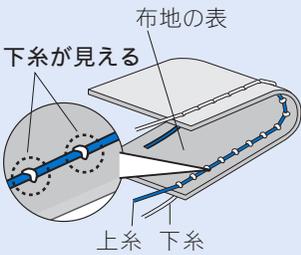
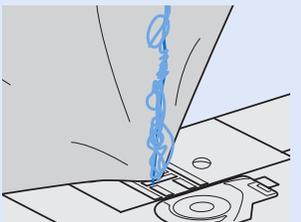
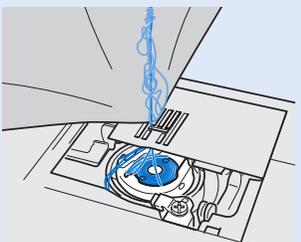
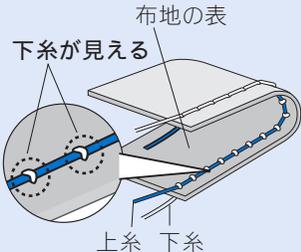
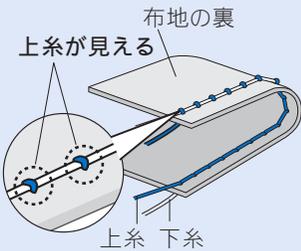
仕様

項目	仕様
本体寸法	幅413mm × 奥行178mm × 高さ296mm
製品質量	CPE00 シリーズ：4.6kg CPE11 シリーズ：4.9kg
ぬい速度	毎分70～710針
使用ミシン針	家庭用ミシン針 (HA × 1)
定格電圧 / 消費電力	AC100V (50Hz または 60Hz) / 40W
手もとライト	白色 LED
振り幅	最大7.0mm
ぬい目の長さ	最大5.0mm

- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら「お客様相談室 (マシン119番)」にご連絡ください。

必要なとき

修理を依頼される前に、まず、P.37～43の項目や弊社サポートサイト（裏表紙）のQ&Aをご確認ください。

こんなとき	原因・対処
<p>上糸がつる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上糸がピンと一本線になっている。 ● 布地の表に下糸がポツポツと出ている。 ● 上糸がつり、引くと抜ける／布にしわがよる。 ● 上糸が強く、糸調子を調節しても変わらない。(P.23) 	<p>原因 下糸のセットがまちがっている。</p> <p>対処 ポビンを内かまから取り出し、下糸をセットし直す。(P.13)</p>
<p>布裏で糸がからまる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 布地の裏で糸がグチャグチャにからまる。 ● かまの中まで糸が何重にもからまる。 ● ぬい始めるとすぐにガタガタと音がして進まなくなる。  	<p>原因 上糸のセットがまちがっている。</p> <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切る ② からんだ糸を取る <ul style="list-style-type: none"> ● 取れないときは、はさみで切る。(P.35「かまの掃除」を参考に) ③ 上糸を外す ④ 上糸をセットし直す (P.15) <ul style="list-style-type: none"> ● ポビンを内かまから取り出した場合は、セットし直す。(P.13)
<p>糸調子が合わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ㉔布地の表に下糸がポツポツと出ている。 ● ㉕布地の表で上糸が直線になる。 ● ㉖布地の裏に上糸がポツポツと出ている。 ● ㉗布地の裏で下糸が直線になる。 ● ㉘布地の裏のぬい目がゆるい・たるむ。  	<p>原因 糸のセットがまちがっている。(㉔・㉕の場合：下糸、㉖～㉘の場合：上糸)</p> <p>対処 セットし直す。(下糸：P.13、上糸：P.15)</p> <p>原因 布地に合った糸や針を使っていない。</p> <p>対処 布地に合った糸や針に交換する。(P.8)</p> <p>原因 糸調子ダイヤルの数値が適正でない。</p> <p>対処 調節する。(P.23)</p>

こんなとき	原因・対処
<p>E6 が表示される</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ぬい始めるとすぐにガタガタ音がして進まなくなる。 	<p>原因 上糸のセットがまちがっている。(てんびんに糸をかけていないなど)</p> <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切る ② 糸がからんでいる場合は、取る (P.35、P.39) ③ 上糸を外す ④ プーリーを手前に回し、動きを確認する <ul style="list-style-type: none"> ● スムーズに動くとき→手順⑩へ。 ● スムーズに動かないとき→手順⑤へ。 ⑤ 針板カバーを外し、ポビンと内かまを取り出す (P.39) <ul style="list-style-type: none"> ● 糸が残っている場合は、取る。(P.39) ⑥ 内かまを取り付ける (P.36) ⑦ 針板カバーを取り付ける (P.36) ⑧ 内かまにポビンを入れる (P.13) ⑨ 針が悪くなっている場合は、交換する (P.9) ⑩ 電源を入れ、を押して針を上げる ⑪ 上糸をセットし直す (P.15)
<ul style="list-style-type: none"> ● 外かまの中などで上糸がからまる。 ● ミシンの中で布地がひっかかる。 	<p>原因 糸が針板の下でからんだ。</p> <p>対処</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源を切る ② からんだ布を取り外す (P.39) ③ 上糸と下糸を外す (P.39) ④ 針板カバーを外し、ポビンと内かまを取り出す (P.39) <ul style="list-style-type: none"> ● 糸が残っている場合は、取る。(P.39) ⑤ 内かまを取り付ける (P.36) ⑥ 針板カバーを取り付ける (P.36) ⑦ 内かまにポビンを入れる (P.13) ⑧ 針が悪くなっている場合は、交換する (P.9) ⑨ 電源を入れ、を押して針を上げる ⑩ 上糸をセットし直す (P.15)
<ul style="list-style-type: none"> ● 針が折れたり曲がったりして針板に当たる。 	<p>原因 布地に合った糸や針を使っていない。</p> <p>対処 布地に合った糸や針に交換する。(P.8)</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ● 布地が送られない。 	<p>原因 ぬい目が細かすぎて、糸がつってしまう。</p> <p>対処 ぬい目の長さを長くする。(P.18)</p>

必要なとき

こんなとき

原因・対処

■原因

糸が針板の下でからんだ。

■対処

布をミシンから取り外す

①ただちにミシンを止め、電源を切る

②針を取り外す (P.9)

- 針が布に刺さっている場合は、プーリーを奥に回して針を布から外してから、取り外す。

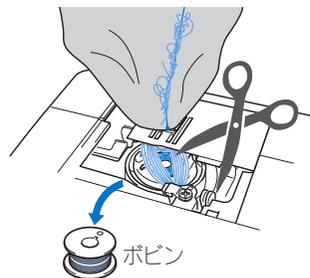
③押えレバーを上げ、押えと押えホルダーを取り外す (P.10)

④布を持ち上げ、布の下の糸を切る

- ここで布が取り外せた場合
→取り外し、次の手順へ。
(かまの掃除のため)

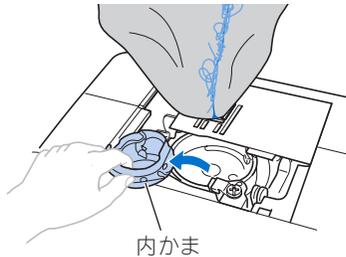
⑤針板カバーを外す (P.35)

⑥からんだ糸を切り、ポピンを取り出す

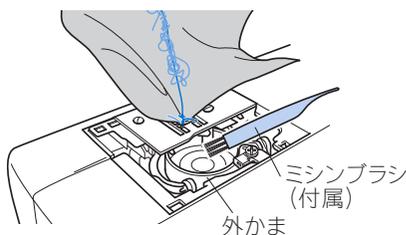


⑦内かまを取り出す

- 糸が残っている場合は、取り除く。



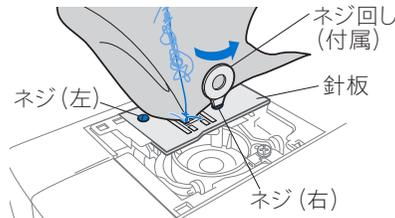
⑧外かま周辺の糸くずやほこりを取る



- ここまでで布が取り外せた場合
→手順⑯へ。

⑨針板のネジを取り外す

- ネジは、ミシンの中に落とさないようにする。



⑩針板を少し持ち上げ、からんだ糸を切って、針板を取り外す

- ここまでで布が取り外せない場合
→お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

⑪かまや送り歯のまわりの糸を取り除く

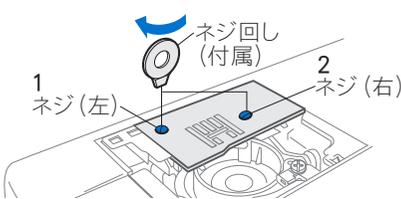
⑫プーリーを奥に回して、送り歯を上げる

⑬針板をはめる

- ネジ穴を針板取付け部の穴に合わせる。

⑭針板のネジ(右)を手で軽くしめる

⑮ネジ(左)→ネジ(右)の順に、ネジ回してしっかりしめる



⑯内かまを取り付ける (P.36)

⑰針板カバーを取り付ける (P.36)

⑱針の状態を確認し、取り付ける (P.9)

- 損傷しているおそれがあるため、交換をおすすめします。(針が悪くなっている場合は、必ず交換する)

⚠注意

- 曲がった針は使わない(針折れのおそれがあります)

- 操作が手順どおりに進まない場合は、無理せず、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

ミシンの動作を確認する

手順⑱のあと、必ず、下記の手順でミシンの動作確認を行ってください。(針板が正しく取り付けられていることを確認するため)

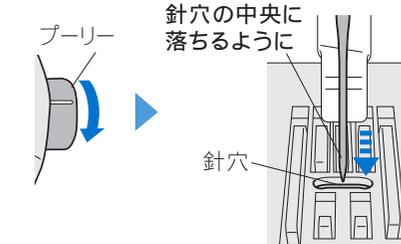
①電源を入れる

②直線(中基線)の模様「01」を設定する (P.17、P.33)

- 押えと糸は、まだセットしない。

③プーリーをゆっくり手前に回し、針落ち位置を確認する

- 前後左右から見る。

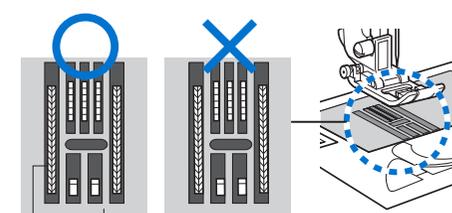


- 針が針板に当たる場合は、針板を取り外し、P.39の手順⑫からやり直す。

④ジグザグ模様「04」を設定する (P.17、P.33)

⑤ぬい目の長さとし振り幅を最大にする (P.18)

⑥プーリーをゆっくり手前に回し、針や送り歯が針板に当たらないことを確認する



送り歯 針板

- 当たる場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。(故障の可能性があるため)

⑦電源を切り、ポピンと押えをセットする (P.10、P.13)

⑧上糸をセットし直す (P.15)

⑨普通地で試しぬいをする

- 正しくぬえない場合は、上糸のセットのしかたや布地の厚さを確認する。

表示

原因・対処

E1

押えが上がっているときに、 や を押した/フットコントローラーを踏み込んだ。
➔押えを下げて操作する。

E2

ボタン穴かがりレバーが下がっているときに、ボタン穴かがりやかんどめ以外の模様を設定して を押した/フットコントローラーを踏み込んだ。
➔ボタン穴かがりレバーを上げて操作する。

E3

ボタン穴かがりレバーが上がっているときに、ボタン穴かがりやかんどめの模様を設定して を押した/フットコントローラーを踏み込んだ。
➔ボタン穴かがりレバーを下げて操作する。

E4

下糸巻き軸が右にあるときに、 や を押した。
➔下糸巻き軸を左に動かし、操作する。

E5

フットコントローラー接続時に、 を押した。
➔フットコントローラーを外す、またはフットコントローラーで操作する。

E6

P.38をご覧ください。

F1

ミシンが故障した可能性がある。
➔お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

F9

■エラーメッセージを消すには



どちらかを 押す または 正しい操作をする

電子音について

正しい操作をすると「ピッ」、まちがった操作をすると「ピッピッ」または「ピッピッピッ」と鳴ります。

- 糸がからむなどミシンがロックされたときは、4秒間鳴り続け、エラーメッセージが出てミシンが自動停止します。

故障かな?と思ったら

■ぬう前の準備

ページ

下糸がポビンにきれいに巻けない

- 糸は下糸巻き案内にしっかりかかっていますか? 12
- 糸は、時計回りに5~6回ポビンに巻き付けましたか? 12

下糸がポビン受け座の下に巻かれた

- 下糸は正しく巻いていますか?
→ポビン受け座の下糸をほどき、巻き直す。 12

糸通しレバーが下まで降りない

- 針は正しい位置にありますか?
→を押して針を上げる。 15

糸通しができない

- 針は正しい位置にありますか?
→を押して針を上げる。 15
- 針は正しく取り付けられていますか? 9
- 針が曲がっていませんか?
→新しい針に交換する。 9
- 上糸は正しくセットしていますか? 15
- 糸通し装置が故障していませんか?
(動かない/戻らない)
→お買い上げの販売店へ。*
- 糸通し装置に対応していない、9番の針を使っていますか?
→手で糸を通す。 16

下糸を引き出せない

- 針が曲がっていませんか?
→新しい針に交換する。 9
- 下糸は正しくセットしていますか? 13

液晶画面に何も表示されない

- 電源は入っていますか? 5
- プラグはコンセントに差し込んでいますか? 5

手もとライトがつかない

- 電源は入っていますか? 5

*お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

■ぬっているとき

ページ

を押しても針が動かない

- 下糸巻き軸は、左側に戻っていますか? 12
- フットコントローラーを接続していませんか?
(接続中はを使えません) 21
- プラグはコンセントに差し込んでいますか? 5
- 電源は入っていますか? 5
- 押えレバーは下がっていますか? 22
- 「ボタン穴かがり」または「かんどめ」以外の場合、ボタン穴かがりレバーは上がっていますか? 27
- 「ボタン穴かがり」または「かんどめ」の場合、ボタン穴かがりレバーは下がっていますか? 27 29

ミシンが動かない

- は押しましたか? 21
- フットコントローラーは正しく使っていますか? 21

布がミシンに入り込んで取れない

- 針板の下で糸がからんでいますか? 39

上糸がつる

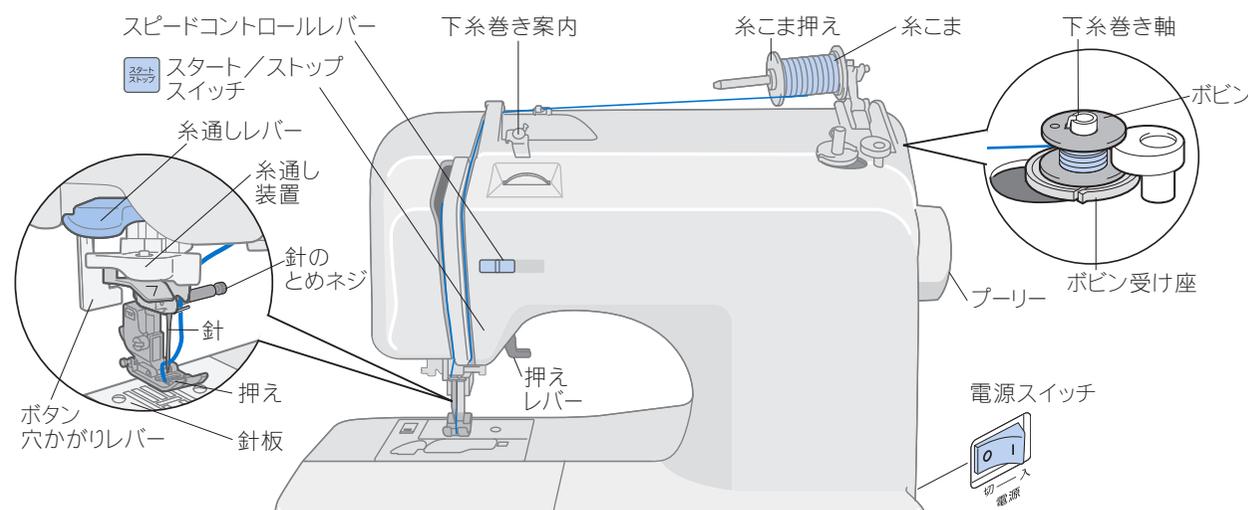
- 下糸は正しくセットしていますか? 13

布裏で糸がからまる

- 上糸は正しくセットしていますか? 15
- 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか? 8

プリーを回したときに重い

- 糸がかまなどにからんでいますか? 39



■上糸が切れる

ページ

上糸が切れる

- 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか? 8
- 針は、曲がったり先がつぶれていませんか?
→新しい針に交換する。 9
- 針は正しく取り付けられていますか? 9
- 糸こまの大きさに合った糸こま押えを使っていますか? 15
- 糸こまは正しくセットしていますか? 15
- 糸が針棒糸かけから外れていませんか? 16
- 本機純正のポビンを使っていますか?
(厚みの違うポビンでは正しく動作しません) 11
- 糸に結び目やこぶがありませんか?
→取り除く。 —
- 糸が結ばれたり、からんだりしていませんか?
→上糸と下糸をセットし直す。 13 15
- 糸がからまっていませんか?
→はさみなどで切って取る。かまにつまった場合は、掃除する。 37
- 糸調子が強すぎませんか? 23
- 針板の穴の周辺にキズがありませんか?
このくぼみは、キズではありません。 —
→針板を交換する。(お買い上げの販売店へ*)
- 押えの穴の周辺にキズがありませんか?
→押えを交換する。(お買い上げの販売店へ*) —
- 内かまにキズがありませんか?
→交換する。(お買い上げの販売店へ*) —

■針が折れる

ページ

針が折れる

- 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか? 8
- 針は、曲がったり先がつぶれていませんか?
→新しい針に交換する。 9
- 針は正しく取り付けられていますか? 9
- 針のとめネジがゆるんでいませんか?
→ネジ回しまたはドライバーでしっかりしめる。 9
- 押えは正しく取り付けられていますか? 10
- 糸こまや糸こま押えは、正しく取り付けられていますか? 15
- 下糸は正しく巻いていますか? 11
- 上糸や下糸は正しくセットしていますか? 13 15
- 本機純正のポビンを使っていますか?
(厚みの違うポビンでは正しく動作しません) 11
- 模様合った押えを使っていますか? 33 34
- 押えホルダーのネジがゆるんでいませんか?
→ネジ回しまたはドライバーでしっかりしめる。 10
- 糸調子が強すぎませんか? 23
- 布地を無理に引っ張りませんでしたか?
→布地は軽く押さえる。 21
- 布地が厚すぎませんか?
→プリーを手で手前に回し、針が布地に通ることを確認する。 24
- 厚い布地などの縫製中、布地を無理に押し込みませんでしたか?
→無理に押し込まない。 24
- 針板の穴の周辺にキズがありませんか?
このくぼみは、キズではありません。 —
→針板を交換する。(お買い上げの販売店へ*)
- 押えの穴の周辺にキズがありませんか?
→押えを交換する。(お買い上げの販売店へ*) —
- 内かまにキズがありませんか?
→交換する。(お買い上げの販売店へ*) —
- ぬい目が細かすぎませんか? 18

下糸がからまる/切れる

- 下糸は正しく巻いていますか? 11
- 下糸は正しくセットしていますか? 13
- ポビンにキズがあり、回転がガタガタしていませんか?→ポビンを交換する。 —
- 本機純正のポビンを使っていますか?
(厚みの違うポビンでは正しく動作しません) 11
- 糸がからまっていませんか?
→はさみなどで切って取り、かまを掃除する。 37

必要なとき

故障かな?と思ったら

	ページ
布地にしわがよる	
● 上糸や下糸は正しくセットしていますか?	13 15
● 糸こまや糸こま押えは、正しく取り付けられていますか?	15
● 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか?	8
● 針は、曲がったり先がつぶれていませんか? →新しい針に交換する。	9
● 薄地の場合、ぬい目がつれたり、布がうまく送れない状態ではありませんか? →布地の下に薄い紙を敷く。	24
● 薄地の場合、ぬい目が粗すぎませんか? →ぬい目を細かくする。または布地の下に薄い紙を敷く。	18 24
● 糸調子は合っていますか? →調節する。	23
● 模様にあった押えを使っていますか?	33 34
ぬい目がとぶ/できない	
● 上糸や下糸は正しくセットしていますか?	13 15
● 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか?	8
● 針は、曲がったり先がつぶれるなど、品質の悪いものを使っていますか? →新しい針に交換する。	9
● 針は正しく取り付けられていますか?	9
● 針板の下やかまに、ほこりなどがたまっていませんか?	35
● 薄い布地や伸びる布地の場合、布地の下に薄い紙を敷いていますか?	24
高い音やガタガタ音がする	
● 上糸は正しくセットしていますか?	15
● 送り歯にゴミがたまっていませんか? →ゴミを取る。	—
● かまに糸くずが巻き込まれていませんか?	35
● 内かまに、針が刺さった穴やスリキズがありませんか? →交換する。(お買い上げの販売店へ*)	—
● 本機純正のポピンを使っていますか? (厚みの違うポピンでは正しく動作しません)	11
布地が逆方向に送られる	
● 送り機構が故障した可能性があります。 →お買い上げの販売店へ。*	—

*お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

	ページ
布地が送られない	
● 送り歯が下がっていませんか? →ドロップレバーを▲▲に動かす。	32
● ぬい目が細かすぎませんか?	18
● 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか?	8
● 模様にあった押えを使っていますか?	33 34
● 針は、曲がったり先がつぶれていませんか? →新しい針に交換する。	9
● 糸がからまっていませんか? →はさみなどで切って取る。かまにつまった場合は、掃除する。	37
● ぬい始めの段差で、ジグザグ押え<J>が傾いていませんか? →押えの固定ピンで、押えを水平にする。	24
針が針板に当たる	
● 針のとめネジがゆるんでいませんか? →ネジ回しまたはドライバーでしっかりしめる。	9
● 針は、曲がったり先がつぶれていませんか? →新しい針に交換する。	9
折れた針がミシンの中に落ちた	
● 電源を切って針板を外すと、落ちた針が見えますか? →ピンセットなどで取り出し、プーリーがなめらかに回るか確認してから電源を入れる。 ・針が取り出せない場合は、お買い上げの販売店へ。*	—
糸調子が合わない	
● 上糸や下糸は正しくセットしていますか?	13 15
● 下糸は正しく巻いていますか?	11
● 布地・糸・針の組み合わせは、正しいですか?	8
● 押えホルダーは正しく取り付けられていますか?	10
● 糸調子は合っていますか? →調節する。	23
● 本機純正のポピンを使っていますか? (厚みの違うポピンでは正しく動作しません)	11
● 針は、曲がったり先がつぶれていませんか? →新しい針に交換する。	9
模様がきれいにぬえない	
● 模様にあった押えを使っていますか?	33 34
● 糸調子は合っていますか? →調節する。	23
● 糸がからまっていませんか? →はさみなどで切って取る。かまにつまった場合は、掃除する。	37

索引

あ	あき止まり 28, 29
	厚い布地をぬう 24
	アップリケ 32
い	糸案内 12, 16
	糸切り 16, 22
	糸たて棒 5, 11, 15
	糸調子 23, 37
	糸調子ダイヤル 23
う	ウォーキングフット 24, 31
	薄い布地をぬう 24
	上糸 15, 23
え	エラーメッセージ 40
お	送り歯 6, 32
	押え 10
	押え固定ピン 24
	押えホルダー 10
	押えレバー 15
	お手入れ 35
か	カーブをぬう 23
	返しぬい 22
	返しぬいスイッチ 6, 21
	飾りぬい 30
	片押え 28
	かま 13, 35
	かんどめ 29
き	キルター 31
	キルティング 31
	キルト押え 32
く	クレイジーキルト 32
こ	困ったとき 37, 39
	ゴムひもつけ 29
さ	3重ぬい 25, 29, 30
	3点ジグザグ 25, 29

し	ジグザグ 23, 25, 31
	ジグザグ押え 24, 25, 28, 29, 30, 32
	下糸 11, 13, 14
	下糸巻き軸 11
	地ぬい 25, 28, 31
	伸縮ぬい 29
す	すそ上げ 26
	スタート/ストップスイッチ 6, 21
	スピードコントロールレバー 12, 21
そ	操作スイッチ 6
	操作パネル 6, 17, 19
	掃除 35
	そでぐり 30
た	たち目かがり 25
	たち目かがり押え 25
	試しぬい 23
ち	直線ぬい 25
つ	筒もの 23
て	停止時の針位置 22
	手もとライト 5
	電源 5
	電源スイッチ 5
	電子音 40
	てんびん 16
と	特に厚い布地をぬう 24
	止めぬい 22
	ドロップフィード 32
	ドロップレバー 32
ぬ	ぬい目の長さ 18
	ぬう方向を変える 23
	布端の始末 25
ね	ネジ回し 9, 10, 31, 32, 39
の	伸びる布地 29
	伸びる布地をぬう 24

は	パッチワーク 32
	はとめ穴パンチ 28
	針 8, 9
	針板 6
	針板カバー 6, 35
	針板ふた 6, 13
	針位置 25
	針上下スイッチ 6
	針のとめネジ 9, 32
	針棒さかけ 6, 16
ひ	皮革をぬう 24
	ビニールをぬう 24
ふ	ファゴティング 30
	ファスナーつけ 28
	プーリー 6
	付属品 7
	付属品収納スペース 5
	フットコントローラー 21
	フリーモーションキルト 32
	振り幅 18
へ	別売品 7
ほ	補助テーブル 5, 23
	ボタン穴かがり 27
	ボタン穴かがり押え 27, 29
	ボタン穴かがりレバー 6, 27, 30
	ほつれ止め 25
	ポピン 11, 13
ま	まつりぬい 26
み	ミシン針 8, 9
	ミシンブラシ 35
め	面ファスナーをぬう 24
も	模様選択キー 17
	模様(文字)選択キー 17, 19
り	リップパー 28
わ	ワイドテーブル 7



アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認のうえ、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」にご相談ください。

■ お客様相談室(ミシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

お客様相談室(ミシン119番) Tel: 050-3786-1134

050(ゼロ ゴー ゼロ)で始まる電話番号です。

Fax: 052-824-3031

受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30

休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室(ミシン119番)は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

www.brother.com

弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)では、製品に関するサポート情報を掲載しております。

support.brother.co.jp

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

888-E00/E11



XH4149-001